

会長のページ 第 112回九州医師会総会・医学会を顧みて	稲倉 正孝	3
日州医談 次期宮崎県医療計画について - 県医師会の対応 -	古賀 和美	4
随 筆 次女の国際結婚	田崎 高伸	6
エコー・リレー(448)	山口真太郎, 山内 明	8
宮崎大学医学部だより(地域医療学講座)	長田 直人	12
専門分科医会だより(外科医会)	白尾 一定	13
メディアの目 古事記 1300年によせて	牧野 達夫	14
ニューメンバー	伊達 晴彦, 野田 裕弘	27
診療メモ 子どもの予防接種の話	高山 修二	48
私の本 歌集『カルテ棚』	長嶺 元久	50

あなたできますか?(平成 23年度医師国家試験問題より)	9
宮崎県感染症発生動向	10
薬事情報センターだより(307) 副作用・感染症報告制度	15
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	16
各種委員会(公衆衛生・感染症委員会)	18
日医インターネットニュースから	20
理事会日誌	22
県医の動き	26
追悼のことば	28
会員の異動・変更報告	32
ドクターバンク情報	35
行 事 予 定	39
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	42
平成 24年総目次	54
ベストセラー	63
あ と が き	64
~~~~~	
お知らせ カット・イラストの募集	7
年末・年始の休館について	18
平成 24年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	19
郡市医師会への送付文書	52

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 油絵〕

### 寒月

矢筈岳展望所(日之影町)での想念。暮色に包まれ、比叡山の山際から月が昇ってくる。やがて月暈に縁どられた^{つきがさ}「そうでない、ありようはない」冬の満月が中天にかかり、冷気が冴えわたってくる。

山影と薄墨色の空は刻一刻と色をかえ、ちぎり雲は夜空に映え、ドビュッシーの「月の光」のピアノの音に転調してさんざめいてくるよう。

延岡市 ^{なが}長 ^{ぬま}沼 ^{こうざぶろう}弘三郎

## 会長のページ

## 第 112回九州医師会総会・医学会を顧みて

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

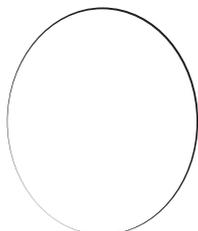
平成 24年 11月 23日・24日・25日の 3 日間、第 112回九州医師会総会・医学会・関連諸会議及び行事が宮崎県医師会の担当で宮崎市シーガイアコンベンションセンター及び周辺施設を使用して盛大に開催されました。横倉義武日本医師会長、今村定臣及び藤川謙二日本医師会常任理事、河野俊嗣宮崎県知事、戸敷正宮崎市長、菅沼龍夫宮崎大学長、池ノ上克宮崎大学医学部附属病院長、田代和久宮崎県薬剤師会会長をはじめ多数の来賓に出席を賜り、祝辞をいただきました。3日間を通して天候に恵まれ、参加者の皆様も宮崎の素晴らしい秋を堪能されたものと推察いたします。

11月 23日に九州医師会連合会常任委員会・臨時総会・合同懇親会が開催されました。会議では、九医連の現況報告に加え、総会に提出する宣言、決議(案)について協議され、了承されました。11月 24日午前中の合同協議会では、横倉義武日本医師会長より「中央情勢報告」との演題で、我が国の医療が抱えている問題点について広範囲に分かりやすく解説していただきました。公的保険による国民皆保険制度を堅持し、地域医療を守るとの強い決意を表明されました。九州各県からの質問・要望事項についても丁寧な回答をいただきました。午後からの九州医師会医学会では、特別講演 1「未知のペプチド・ホルモン探索から医薬品の創生まで～ LH -RH , ANP そして BNP ~」を元宮崎医科大学長、国立循環器病研究センター名誉所長で日本学士院賞を受賞されている松尾壽之先生にお願いしました。新しい独自の研究方法を用いての未知のペプチドホルモンの発見と医薬品の創生についてわかりやすく解説していただきました。研究の苦勞と楽しさを教えていただきました。特別講演 2「初の国際人・伊東マンショが生きた時代～没後 40年の節目を記念して～」を宮崎大学教育文化学部竹井成美教授にお願いしました。都於郡(とのこおり 現宮崎県西都市)出身の伊東マンショ(幼名虎千代磨)の生涯を時代考証を交えて、「天正遣欧少年使節」の正使として 8年がかりでヨーロッパを旅した人物を当時の音楽を通して迎るといって、楽しくて素晴らしいお話でした。11月 25日は 7つの分科会と 5つの記念行事(テニスは 11月 4日開催済み)が行われました。

本年度の九医学関連の出席者は季節、天候、会場等全てに恵まれて、総会・医学会に 405名、分科会に 1,261名、記念行事に 258名と多数の会員に参加いただいています。九州医師会医学会は明治 25年 5月に第 1 回大会を開催して以降、今年で 112回を数え、その歴史を振り返っても休会したのは明治 28年の日清戦争、明治 36年のコレラ流行、昭和 12年の支那事変、昭和 20年の第二次世界大戦等です。その歴史の重みをまざまざと感じ、九州各県の先輩医人の方々が幾多の困難を乗り越え、努力を重ねながら、この会を営々と引き継いでこられたことに対して、深く敬意を表します。第 112回目の大会を無事終えることができましたことは、諸先輩方のご努力、九州各県医師会の役職員・会員、宮崎県医師会の役職員・会員、ホテル関係者の皆様のご協力によるものと、心より感謝申し上げます。来年の第 113回大会は沖縄県宮城信雄会長の主催で行われます。再会を楽しみにしています。

(平成 24年 12月 3日)

## 日州医談

次期宮崎県医療計画について  
- 県医師会の対応 -

常任理事 古賀和美

平成 20 年 3 月に策定された宮崎県医療計画は 5 年毎の改定時期を来年 3 月に控え、宮崎県医療計画策定委員会により、その見直し作業が行われています。この医療計画は向こう 5 年間、宮崎県の医療行政の指針となるものであり、その重要性に鑑み、本計画に県医師会としての意見を反映すべく宮崎県医療計画策定委員会に参画してきました。特に、急性期医療・二次医療圏設定・在宅医療・災害時医療体制の 4 項目に焦点を絞り、宮崎県医師会医療計画プロジェクト委員会を設置し、4 項目についてそれぞれに小委員会を設け、協議しました。そして各委員会の意見をまとめ、9 月 4 日、宮崎県医師会としての提言書を宮崎県医療計画策定委員会に提出しました。以下にその内容の要約を示します。

## 1. 本県における二次医療圏設定の妥当性について

厚労省からの通知では人口規模が 20 万未満で、推計流出入院患者 20% 以上等の二次医療圏については見直しについて検討を要するとなっており、宮崎県では西都児湯・日向・西諸の 3 医療圏が再編検討の対象となりました。特に西都児湯医療圏の流出率が 37.5% と高いことを考慮し、以下の提言を行いました。「宮崎県医療計画策定委員会が示している、西都児湯医療圏の再編について今年度に検討を行い、日向・西諸については次期医療計画期間中に検討を続けるとの方針は妥当と考える。西都児湯と宮崎の医療圏合併について、前向きに検討すると同時に、合併後の姿をできうるかぎり明

らかにするように求める」

その後、県行政と西都市・医師会・消防など地元関係団体との意見交換会で明確な再編反対がなされた結果、次期医療計画での再編は見送られる見通しとなりました。また、九州他県においても今回、見直しされ再編される医療圏はないようです。ただし、今後、少子高齢化が進む地域においては少子化のため若年労働者の確保が困難、すなわち医師・看護師・介護士などの医療従事者の確保が困難となり、医療資源集約化のため、二次医療圏再編は引き続き大きな課題として残るものと思われる。

## 2. 各二次医療圏における急性期医療の現状と展望について

救急医療に関する小委員会では県内二次救急指定医療機関に対しアンケート調査を実施し、以下の提言をしました。

救急医療については県北・県央・県西・県南の 4 地区に分けて整備していくほうが現実的である。

二次救急告示民間病院への補助金の配慮救急患者搬送受け入れ困難例の原因究明、対策を行政・医師会・消防など関係機関で協議すべきである。

一・二次、三次救急間の連携をコーディネートする機関の設置。

終末期医療を受けている患者の容態急変にともない、二・三次救急病院に搬送される事案が増加しており、本来の救急医

療機能低下につながっている。対策が必要である。

救急医療について医療計画見直しは5年毎ではなく、2～3年毎が望ましい。

その後、医療計画策定委員会では  
に関してはあまり配慮する気配はないよう  
です。 については今春から宮崎大学  
に救命救急センターが設置されドクターヘ  
リも就航し、一段と救急医療が強化され改  
善が期待されます。また宮崎県救急搬送受  
入れ対策協議会や宮崎県メディカルコン  
ロール協議会でも引き続き検討されるもの  
と思います。

### 3. 在宅医療と地域連携のあり方について

在宅医療と地域連携のあり方に関する小  
委員会では、医師や看護師の絶対数不足や  
地域偏在、在宅医療を担う開業医の高齢化、  
若手医師の専門医志向により依然として厳  
しい環境下にあることを踏まえ以下の意見  
をまとめ提言をしました。

各医療圏ごとに在宅医療の現状分析を  
行う。

地域ごとの在宅医療を担う施設や資源の  
マップを作成し、それを開示する。

地域ごとに基幹病院に対してバックア  
ップベッドを確保することを義務付ける。

その際、空床を置くことによる経済的損  
失に対して行政からの支援を行う。

情報のスムーズな伝達と共有化を進める  
ために、ITを活用した体制作りを行う。

在宅医療を担う医師確保のために、医学  
生の在宅医療研修の必修化を図る。

地域包括医療支援センターの本来の包括  
業務の充実を図って、地域包括ケア構想  
の実効性を高める。

在宅医療連携拠点構想の実現を図る。

共同住宅や公園などに救急車両専用の駐  
車場を確保する。

その他

在宅医療は、入院医療・通院外来医療と  
ともに医療の中の大きな部分を占めること  
になるがその医療体制づくりに、家族介  
護者の不在、急変時の不安、各種在宅医療  
サービスの不足などが大きな阻害要因になっ  
ています。宮崎県も例外ではなく、医療体  
制づくりはまだ緒についたばかりであり、

～ の諸問題解決の目途は立っていない  
のが現状です。従って次期医療計画の作成  
にあたり、宮崎県医師会在宅医療協議会の  
果たす役割は大きいものと思われます。

### 4. 災害時における医療体制の構築について

災害時医療に関する小委員会の提言は以  
下のとおりです。

EM ISや衛星携帯電話等の通信網の整備  
宮崎県医療計画災害医療におけるJMAT  
の位置づけ

宮崎県災害対策本部における県医師会の  
関与

災害拠点病院指定の追加・見直し・機能  
検証

EM ISについては導入が決まり、入力訓練  
も行われています。3.11においてJMATの  
活動は社会から高く評価され、次期医療計  
画災害医療において位置づけが明らかにさ  
れるものと思われます。災害時派遣協定書  
中のJMATの記載、日当・旅費・医薬品等  
の実費弁償、二次災害時の傷害保険等の問  
題も大きく改善されると思います。また、  
宮崎県災害対策本部の構成メンバーに県  
医師会が参画する事案は今後の検討課題と  
なるようです。災害拠点病院の指定には公  
的・私的病院を問わず災害医療に対する機  
能の有無により指定基準とすべきものと考  
えます。

以上、県医師会の提言の要約を示しまし  
たが今後、11月の県医療審議会を経て、県  
議会の議決後、来年3月に公示される予定  
です。

## 随 筆

## 次女の国際結婚

宮崎市 田崎皮膚科医院 田 崎 高 伸

ドイツで働いている次女から、会社のドイツ人青年と結婚したいとのことで招待状が来ました。結婚したいとの旨は、スカイプでドイツ人の彼が日本語で「お嬢さんを下さい」と話して来ました。家内は笑って「あげないけれども結婚してもいいですよ」と答えました。教会学校や幼稚園にも連れて行き、よくディスカッションもした、あの娘が...と考えると月日の経つ早さを感じざるを得ませんでした。

早速私達夫妻と長男、長女夫妻と3歳7か月の孫娘で出席することにしました。沖縄で働いている長男も台風の中を無事成田空港に到着、合流して全員でドイツへ向けて出発しました。

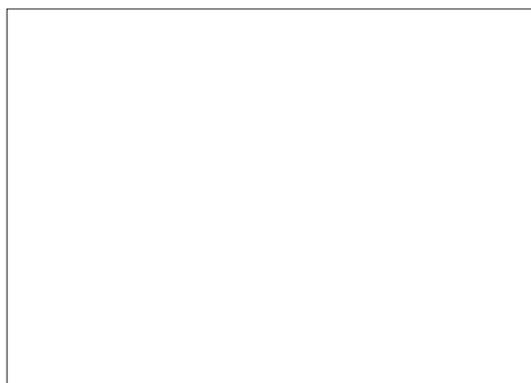
次女は、自分は結婚式の準備で忙しいので同行は出来ないと言って、私達のために、ノイシュバンシュタイン・ロマンティック街道、ライン川下りなどの観光を手配してくれていました。

結婚式の前々日にミュンヘンから列車で懐しいデッセルドルフの駅に着きました。ここは私達が4年前に結婚式を挙げた思い出の街なのです。プラットホームには、次女と彼が迎えに来てくれていました。

翌日は若い時お世話になっていたドイツの友人宅で昼食を摂り、夕方には、彼の両親と初めて会いました。とても感じの良い方でした。夕食はみんな一緒に珍しいモンゴル料理店での会食でした。その後日航ホテルのカラオケルームに行き、数時間楽しく過ごしました。孫娘も“でんでん虫”やアニーの“tomorrow”など歌いみ

んなの拍手をもらっていました。お互いの家族が親しくなるようにとの配慮だったのでしょうか。

ドイツでは教会での結婚式の前に、Verwählung (市役所)での式があります。証人や親族も集まり、市の結婚式の係の人の前で誓約し、リング交換がありました。その場で書類にサインします。今回の係の人は女性で、ちょっとした話と詩の朗読もしてくれました。私達も正装で出席しました。これで法的な結婚が成立したのです。



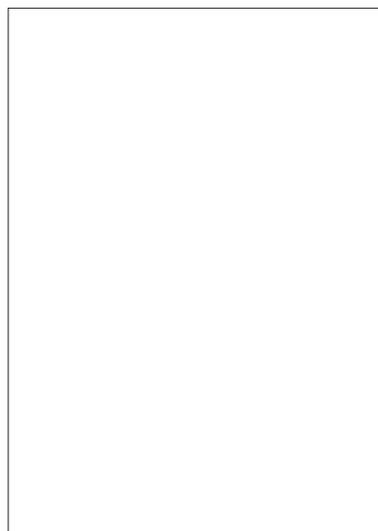
教会の外で手に手に風船を持たされました

次の日が教会での結婚式でした。入口にはポスターが貼られ、ロビーには沢山の人が集っていました。ドイツの友人や、私達が昔、子供の頃に遊んであげた人達が奥さんや子供達を連れて参加してくれました。次女の聖書学校(ドイツ)時代の友人達や教会の人達が一生懸命働いてくれました。皆がドリンクを手に語り合っている間に、私は地下の控室で次女の腕を取って待機させられていました。タイムキーパーもいて、

鐘が鳴ったらすぐ式場の赤ジュータンの上を歩いて行き、待っている彼へ渡すことになっていました。かなり緊張しました。荘厳なオルガンの中の行進を思っていたところ軽快なピアノの演奏でした。段上ではギターとドラム、ヴォーカルの演奏、時代の変化を感じました。賛美歌の一つ“輝く日を仰ぐとき”では、一節を日本語で歌ってくれました。牧師のメッセージがあり、神様の前での誓約がなされ、リング交換がありました。退場の時には真白なドレスに白い靴の孫娘が新郎新婦の前を花をまいて歩き、皆の拍手を受けていました。ロビーで茶話会がもたれました。ケーキ、コーヒー、シャンパン等を楽しみながら良い交わりの時でした。外に出て、一人一つずつ渡された2色の風船を「3, 2, 1, 0」で一斉に手放しました。澄みきった空に、高く高く舞い上がり遠くに行った風船は忘れられません。

夜は古いお城のレストランで親しい方達30人位の会食でした。日本人には日本語のメニューが用意されゆっくりした楽しい会でした。途中スピーチがあり、彼は彼のお母さんと素晴らしいスピーチをしてくれ、私達も用意していたドイツ語でスピーチをしました。二人のファース

トダンスもあり、出席者も楽しそうにダンスをし、時を忘れていたようでした。



孫娘が新郎新婦の前で花をまいて歩きました

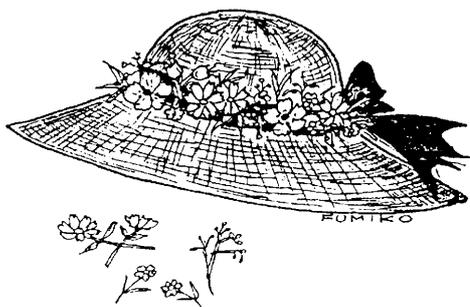
次の日、私達は次女と新しいドイツの家族に見送られてリムジンバスでフランクフルトの空港へ向かいました。いつまでも手を振っていた次女の姿が今も忘れられません。

さわやかにドイツの夫と手を振る娘

田崎 詩門

## お知らせ

# カット、イラストの募集



日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。是非、作品をお寄せください。なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。

原稿宛先

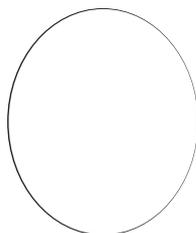
宮崎県医師会広報委員会  
〒880-0023  
宮崎市和知川原1丁目101  
genko@m iyazakim ed.or.jp

## エコー・リレー

( 448回 )

( 南から北へ北から南へ )

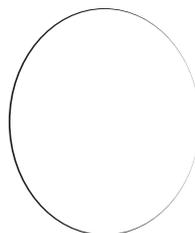
## 気分転換

高鍋町 やまぐち脳神経外科 ^{やま}山 ^{ぐち}口 ^{しん}真 ^{たろう}太朗

マラソンしている人は多いが、今まで自分はこれに随分助けられている。はじまりは小学生の頃からと思われる。小学生低学年時のマラソン大会で最上位にくいこみ、内気だった自分はそこに小さな喜びを感じていたことを今も良く覚えている。その時からずっと走り続けている。下校後の夕方に河川敷を、農道を、両親に誘われ走り、夕陽を見ながら気分が落ち着いていた。学生時代の部活動はその延長でもあり、上手でなくても持久走が強ければ少しは先輩が認めてくれた。働き始め、休みなどないに等しい毎日の中、ポケベルを握り同僚に耳打ちして抜け出して職場に隣接した筑後川堤防やグラウンドを駆け、中途半端な時間に鳴らないように祈りつつ手早く走り済ませ直ぐに戻ることができた。遠方の学会で2泊以上するときは、列をなしてその時を待ちつつ履きつぶれたワンポイント当番用のアシックスシューズを持参し、走り終わると、今までありがとございましたと思いながらホテルにゴミとして置いていく。又、走っているときに唯一の静寂な時間である。非常にあわただしく次々に急患が運び込まれ膀胱がパンパンになるまで気づかないような毎日であっては、走る時が唯一自分と向き合える落ち着いた必要な時間でもあった。自然その日にあったことを考えてしまっている。その日に行われた検査、手術、患者さんや職員との会話について、あーすればよかったか、こーすればもっとよかったのか、など反省の時間になる事が多かった。論文の執筆内容について考慮し、手術前のイメージトレーニングや施行後の反省の時間でもあった。静寂の中、落ち着いて考える事が出来れば、ふと良い考えやヒラメキが登場してくることも多い。そうしているうちに1時間は経過し、飯はうまいし快眠が得られ、精神衛生の上でも非常に良く、無理をしなければ体に良いことは分かりきったこと。何といても、一人で気がねなく、どこでも、雨の日でも( どうせ汗でぬれる ), 安価で、その時の体調にあわせて、1時間あれば気分良く変身できる便利な必需品だ。

〔 次回は、延岡市の甲斐 英三先生をお願いします 〕

## 自己紹介

都城市 早水公園クリニック ^{やま}山 ^{うち}内 ^{あきら}明

今回、このような機会を頂きましたので私と当院の紹介をさせていただきます。

開業に至る決意 医師として研鑽していく過程で、外来業務にて多くの患者さんと接するにあたり、多くの患者さんのよき相談相手になりたいという思いが芽生え開業を決意いたしました。その後6年前に千葉にて開業しました。開業医として学校医や医師会業務に接して地域の1診療所として成長いたしました。今回の東日本震災での液状化被害や混乱の中で、郷里に戻りたいという意識が芽生え今回都城での開業にいたしました。

震災の経験 少し話がずれますが、今回の震災での診療所レベルでの事についてお話させていただきたいと思っております。今回私は千葉県で、地震だけで津波被害などはありませんでしたが、様々な経験をさせていただきました。

1. 地震後の患者さんの殺到：震災後は皆さん不安感が強く、今後また余震が来て病院に来れなくなったり薬がなくなるのでは？という事で、特に慢性疾患の患者さんを中心に長期の処方希望されて殺到しました。また不眠症や不安感の強い方が多くみられました。
2. 計画停電の影響：急に前ぶれもなく電気が来なくなるので、電子カルテのバックアップやお子さんの薬の分包ができなくなるので、スタッフ同かりの準備をしました。また、停電になると、病院は開いてるだろうということで患者さんがたくさん来ましたが、小さい1診療所では当然自家発電はなく、会計も出来ずに苦慮しました。
3. 物の供給不足：まずガソリンがなくなり、薬の配達滞り卸業者さんは自転車での配達を余儀なくされました。またトイレトペーパーや水が店頭からなくなり、実家の宮崎から都合させていただきました。などなど、様々な経験をさせていただきました。こういう経験をするにあたり、郷里が懐かしくなり今回の帰郷を決意した次第です。

当院の目標 個人的な当クリニックの目標や当院の使命としては、地域の病気における交通整理的な役割を行っていきたく思っております。バックアップ病院や専門的な治療が必要な方には、そちらへ。クリニックレベルで対応できるものであれば、当院で。患者さんが何か心配や相談があった際にはよきアドバイザーとなれるようにがんばっていきたく思います。

当院を含め、私個人もまだまだ未熟で若輩者ではありますが、1日でも早く地域医療の一翼を担えるように日々研鑽していく所存でありますので色々ご迷惑をおかけすることもあると思っておりますが今後ともよろしくお願い申し上げます。

郷里都城に帰り、先輩先生方からたくさんの叱咤激励を頂き当院も1年をやっと迎えることができました。今後は、微力ながら尚一層の研鑽を積み、宮崎の医療の一角を担えるよう成長をしていきたいと思っております。

〔 次回は、都城市の原田 健一先生をお願いします 〕



## あなたできますか？

平成 23年度 医師国家試験問題より

( 解答は 53ページ )

1. ヒト絨毛性ゴナドトロピン( hCG )の定量が診断に最も有用なのはどれか。
  - a 切迫流産
  - b 多胎妊娠
  - c 妊娠悪阻
  - d 胞状奇胎
  - e 子宮内発育遅延
2. 障害されると右方視の際に複視をきたすのはどれか。
  - a 右視神経
  - b 右三叉神経
  - c 右外転神経
  - d 左顔面神経
  - e 左副神経
3. 70歳の女性。1人暮らし。5日前からの発熱と下痢とを主訴に、往診の依頼があった。2年前に大腿骨頸部骨折を受傷して以来、自宅で寝たきりになっている。意識は清明。体温 38.0。脈拍 104分、整。血圧 86/50mmHg。呼吸数 24分。  
この患者で認める可能性が高いのはどれか。
  - a 黄疸
  - b 腹水
  - c 乏尿
  - d 甲状腺腫大
  - e 外頸静脈怒張
4. 放射線の健康影響について正しいのはどれか。
  - a 実効線量限度は内部被ばく線量を含んでいる。
  - b 確定的影響には名目リスク係数が設けられている。
  - c 確定的影響は閾値の存在を前提に算出されている。
  - d 線量限度は確率的影響を減少させるために設けられている。
  - e 成人でのがん発生のリスクは全集団でのリスクよりも高い。
5. 低栄養状態で高値を示すのはどれか。
  - a レプチン
  - b アルブミン
  - c 成長ホルモン
  - d コリンエステラーゼ
  - e 遊離トリヨードサイロニン
6. 10か月の乳児。腹部膨満と血便とを主訴に来院した。7日前から、不機嫌になって嘔吐しては急に機嫌が良くなるという状況が繰り返されたため、4日前に自宅近くの診療所を受診したところ、急性胃腸炎の診断で整腸薬を処方された。その後、次第に嘔吐が頻繁になってきたため、3日前に再び同診療所を受診し、点滴を受けて帰宅した。本日になって血便も伴うようになり、ぐったりしてきたため同診療所から紹介されて受診した。意識は傾眠状態で刺激への反応が弱い。体温 35.9。心拍数 128分。整。血圧 74/48mmHg。呼吸数 24分。顔面は蒼白である。腹部は膨満している。黄色の液体を頻繁に嘔吐している。  
現時点の対応として適切なのはどれか。
  - a 洗腸
  - b 便培養
  - c 急速輸液
  - d 注腸造影
  - e 抗菌薬の投与
7. 70歳の男性。1か月前に重症肺炎で集中治療室に入院し、全身状態が改善したため7日前から一般病棟に移っている。意識は清明。認知機能と嚥下機能とに異常を認めない。食事形態を工夫したが、患者は食事を拒否し終日ふさぎこんでいる。患者は経管経腸栄養も拒否している。  
現時点の対応として適切なのはどれか。
  - a 食欲の回復を待つ。
  - b 終末期として対応する。
  - c 中心静脈栄養を開始する。
  - d 患者の心理状態を評価する。
  - e 介護保険施設への入所を勧める。
8. 15歳の女子。体重減少を心配した母親に伴われて来院した。友人に「太っているね」とからかわれたことを気にして、1年前から低カロリー食品を好むようになり、体重を毎日測定するようになった。1年前の体重は5kgであった。初経は12歳。身長 156cm、体重 38kg。体温 35.7。脈拍 44分。整。血圧 98/58mmHg。心音と呼吸音とに異常を認めない。血液所見 赤血球 326万、Hb 10.1g/dl、Ht 30%、白血球 3,200、血小板 32万。血液生化学所見 総蛋白 6.1g/dl、尿素窒素 17mg/dl、クレアチニン 0.5mg/dl、総コレステロール 275mg/dl。  
体重減少の鑑別診断に必要な情報で最も重要なのはどれか。
  - a 不眠
  - b 食欲低下
  - c 尿量減少
  - d 月経の状態
  - e リストカットの既往
9. 20歳の女性。強い頭痛発作を主訴に来院した。最近の10日間は仕事で多忙であったが、2日前に一段落した。昨日の朝、目覚めたときから右側頭部が痛み始めた。痛みは急速に増悪して拍動性となり、約3分でピークに達して、立っていられなくなった。起き上がった歩いたりすると痛みが増強した。その後、頭痛は徐々に軽減して数時間で消失した。同様の頭痛発作が3年前から年に2、3回出現するという。  
この疾患の頭痛発作時に伴いやすいのはどれか。 2つ選べ。
  - a 鼻閉
  - b 羞明
  - c 悪心
  - d けいれん
  - e Homer症候群
10. エストロゲンが主に作用する部位はどれか。
  - a 視床下部
  - b 下垂体後葉
  - c 副甲状腺
  - d 脾臓
  - e 副腎皮質

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 10 月 ～

平成 24 年 10 月 1 日～平成 24 年 10 月 28 日( 第 40 週～ 43 週 )

### 全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類 結核 3 例が報告された。保健所別報告数を【 図 1 】に示した。患者が 14 例、疑似症患者が 4 例、無症状病原体保有者が 13 例で、患者は肺結核が 12 例、その他の結核( 結核性リンパ節炎、頸部リンパ節炎 ) が 2 例であった【 表 1 】。男性 12 例・女性 19 例で、年齢別報告数を【 表 2 】に示した。
- 3 類 腸管出血性大腸菌感染症 2 例が宮崎市保健所から報告された。
  - ・ 30 歳代で無症状病原体保有者。原因菌の O 血清型は、O 142 VT 2 産生。
  - ・ 80 歳代で腹痛、水様性下痢、血便、発熱がみられた。原因菌の O 血清型は、O 157 VT 2 産生。
- 4 類
  - デング熱 宮崎市保健所管内で 1 例報告された。20 歳代の女性で発熱、全身の筋肉痛、骨関節痛、発しん、白血球減少がみられた。東南アジアに渡航歴あり。
  - レジオネラ症 宮崎市保健所管内で 1 例報告された。60 歳代の男性で発熱、肺炎がみられた。
- 5 類
  - アメーバ赤痢 宮崎市・小林( 各 1 例 ) 保健所管内から報告された。
    - ・ 40 歳代の男性で腸管外アメーバ症。発熱、右季肋部痛、肝膿瘍、腹膜炎がみられた。
    - ・ 60 歳代の男性で腸管アメーバ症。下痢、粘血便がみられた。
  - 急性脳炎 宮崎市保健所管内で 1 例報告された。患者は 7 か月で病原体不明。発熱、痙攣、意識障害がみられた。
  - クロイツフェルト・ヤコブ病：宮崎市保健所管内で 1 例報告された。60 歳代の男性で古典型。進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、小脳症状、視覚異常、無動性無言状態がみられた。
  - 梅毒：宮崎市保健所管内で 1 例報告された。60 歳代の男性で無症状病原体保有者。

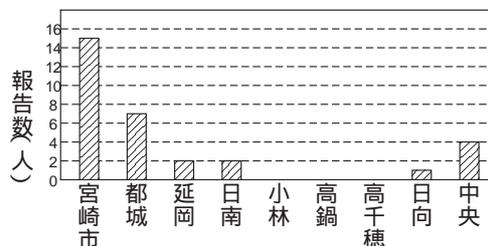


図 1 保健所別報告数( 結核 )

表 1 結核の病型及び報告数( 人 )

肺結核	12
その他の結核	2
無症状病原体保有者	13
疑似症患者	4

表 2 結核の年齢別報告数( 人 )

20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代
2	4	4	5	5	4	5	2

### 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 2,434 人( 定点あたり 73.1 ) で、前月比 74% と減少した。また、例年と比べると 92% と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は、インフルエンザ、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナであった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症であった。

### 病原体検出情報( 微生物部 )

検出病原体		件	臨床症状等
細菌	Mycoplasma Pneumoniae	1	・マイコプラズマ感染症疑
	Salmonella Braenderup (O7 e, h e, n, z15)	2	
	毒素原性大腸菌(O15 H 18 ST _h )	1	・発熱( 37.4 )、下痢、腹痛( タイ旅行 )
	毒素原性大腸菌(O128 H 12 ST _p )	1	・下痢、腹痛
	黄色ブドウ球菌 エンテロトキシン D 型	1	・不明熱( 40.0 )
	腸管出血性大腸菌(O157 H 7 VT 2)	1	・発熱( 37.0 )、下痢、血便、腹痛
菌	毒素原性大腸菌(O25 HNM ST _h )	1	・下痢( 中国、インド旅行 )
	Salmonella Enteritidis(O9 g m -)	1	

感染性胃腸炎の報告数は806人(22.4)で前月の約1.2倍、例年の約1.1倍であった。日南(41.7)、小林(40.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は480人(13.3)で前月の約8割、例年の約2.7倍であった。中央(28.0)、日南(20.7)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月～2歳が全体の約8割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は79人(2.2)で前月の約6割、例年の約2.6倍であった。延岡(7.0)、日南(6.7)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月～5歳が全体の約9割を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は381人(10.6)で前月の約4割、例年の約1.6倍であった。延岡(23.3)、日南(16.7)保健所からの報告が多く、年齢別では5か月以下が14%、6～11か月が26%、1歳が36%、2歳が15%、3歳以上が9%であった。

マイコプラズマ肺炎の報告数は5人(0.7)で前月の約半数、例年の約1.5倍であった。5～9歳が3人、10～14歳が2人であった。

前月との比較

	10月		9月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	3	0.1	40	0.7	
RSウイルス感染症	381	10.6	1,070	29.7	
咽頭結膜熱	79	2.2	129	3.6	
溶レン菌咽頭炎	229	6.4	196	5.4	
感染性胃腸炎	806	22.4	672	18.7	
水痘	147	4.1	130	3.6	
手足口病	480	13.3	611	17.0	
伝染性紅斑	4	0.1	4	0.1	
突発性発しん	137	3.8	158	4.4	
百日咳	0	0.0	2	0.1	
ヘルパンギーナ	45	1.3	185	5.1	
流行性耳下腺炎	82	2.3	89	2.5	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	34	5.7	38	6.3	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	2	0.3	2	0.3	
マイコプラズマ肺炎	5	0.7	11	1.6	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	

例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

月報告対象疾患の発生動向 10月

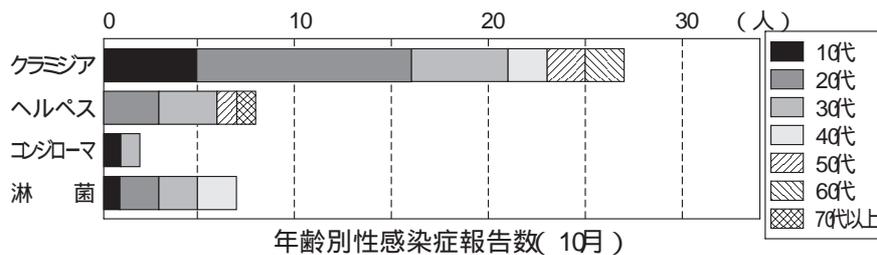
性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数 13

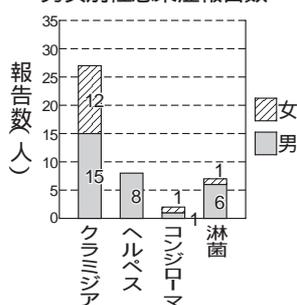
定点医療機関からの報告総数は44人(3.4)で、前月比129%と増加した。また、昨年10月(4.3)の約8割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症 報告数27人(2.1)で、前月の約1.4倍、前年の約8割であった。都城(5.0)保健所からの報告が多く、20歳代が全体の約4割、10歳代・30歳代がそれぞれ全体の約2割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数8人(0.62)で、前月と同程度、前年の2倍であった。20歳代と30歳代がそれぞれ全体の約4割を占めた。
- 尖圭コンジローマ 報告数2人(0.15)で、前月の2倍、前年の半数であった。10歳代と40歳代であった。
- 淋菌感染症 報告数7人(0.54)で、前月の約1.4倍、前年の約半数であった。20歳代・30歳代・40歳代がそれぞれ全体の約3割を占めた。



男女別性感染症報告数



薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は46人(6.6)で前月比159%と増加した。また、昨年10月(5.4)の約1.2倍であった。

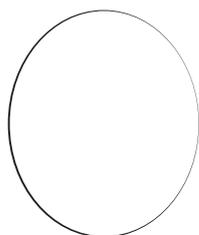
《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 報告数43人(6.1)で、前月の約1.6倍、前年の約1.2倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 報告数2人(0.29)で、前月及び前年の約2倍であった。50歳代と70歳以上の報告であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 報告数1人(0.14)で、前月及び前年と同程度であった。70歳以上の報告であった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症 報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## 宮崎大学医学部だより

### 地域医療学講座



ながた 直人 教授

2010年 4 月に地域医療学講座は寄附講座として発足しました。所属メンバーは、松田俊太郎(自治医大 1996 年卒)、白尾英仁(自治医大 1999 年卒)、矢野裕一(自治医大 2002 年卒)と長田直人(宮大 1986 年卒)の 4 名でした。

30 歳台の若い自治医科大学卒の 3 名は助教に、6 歳の長田は教授に就任し、年の差が 20 歳以上も離れた集団でした。

まず、宮崎県の地域医療に何が不足し何をすれば良いのかについて、各々の立場から意見交換をしました。そこから見えてきた問題点は、若手医師数の減少と医師の偏在、そして、県内のどの医療圏においても十分な救急医療体制が取れていないという現状でした。

救急は地域医療の基盤であると考え、第一に救急医療体制の充実に協力することにしました。2011 年 4 月に、小児救急を標榜する白尾と日本医科大学千葉北総病院でドクターヘリの研修等を 5 年間行ってきた金丸勝弘(自治医大 1996 年卒)が、当講座を經由して救急部に入局しました。さらに、長田は 2011 年 9 月～2012 年 3 月まで救急部長を兼任し、松田も 2012 年 1 月から 6 月まで、救急部・救命救急センターに協力しました。

この間、2010 年から串間市民病院で後期研修に従事している早川学(宮大 2006 年卒)は、矢野の指導のもと県内の地域における臨床研究を行ってきました。また後期研修として、池ノ上実(宮大 2009 年卒)は 1 年間麻酔科で麻酔を研修し、宮原悠三(宮大 2009 年卒)は、宮崎善仁会病院で救急の研修を受けました。さらに片山陽平(自治医大 2007 年卒)と永山学(自治医大 2004 年卒)は、当

講座を通じ 1 年間大学で研修を行っています。

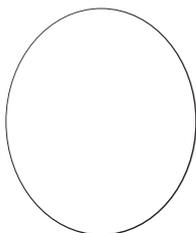
2012 年 4 月、救命救急センターが落合秀信新教授のもと稼働し始めた時、地域で働く総合医を育成する構想を計画しました。そして 9 月 28 日、県立日南病院内に地域総合医育成サテライトセンターを設置すべく、宮崎県病院局、福祉保健部と宮崎大学医学部の間で協定が結ばれました。これにより、当講座の大学職員が県立日南病院で、常時後期研修医を教育できる体制になりました。10 月現在、附属病院地域総合医育成センター講師になった松田が、県立日南病院にて、2013 年 4 月から赴任予定の後期研修医の研修カリキュラムを構築しています。2 年間で地域医療に対応できる医師を育成するために、当講座が考えている獲得目標に沿って指導したいと考えています。指導医である我々は、決して高水準の指導者ではありませんが、後期研修医が宮崎県に定住し、専門性を兼ね備えた地域総合医に育ってもらいたいという熱意だけは、誰にも負けないつもりです。

2014 年 3 月で当初の寄附講座の任期は終わりますが、今後も継続する場合は、1) 地域に根ざした総合医の育成、2) 救急医療の更なる充実、3) 医療ネットワークの構築を目標に考えています。

ネットワークのサーバーは当講座で管理し、救急、緩和ケア、褥瘡等に関わる情報を、独自の映像伝送システムを用いて、リアルに送受信できるようにします。地域での医療情報の共有化を図ることで、医療従事者の孤独化を防ぎ、宮崎県の医療レベルを向上することができればと思います。

近未来、県立日南病院が研修医を育てる病院になり、後期研修を通じ地域総合医となった医師が、非常備消防地域を含めた県内の地域で医療を支えることが出来る日を期待しています。宮崎県の地域医療が明るくなるよう精一杯邁進して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。(長田 直人)

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り ( 外 科 医 会 )



たなか としまさ  
田中 俊正 会長

宮崎県外科医会は昭和 38 年 2 月 24 日に設立されています。田中俊正会長、豊田清一、大塚直純副会長の下、会員数は 189 名で、開業医の A 会員が 93 名、勤務医の B 会員が 6 名、宮崎大学病院勤務医 35 名です。夏の若手会員の発表会、秋の特別講演会、冬のテーマを決めた発表会などを企画し、夏の若手会員の発表会では、時間を越えて活発な討論がなされます。平成 24 年 2 月 3 日の冬期講演会では「高齢者手術の周術期管理の工夫」というテーマで、最近増加している高齢者手術について適応や術後合併症対策などの多くの情報を共有できました。平成 24 年 11 月 24 日の九州医師会外科学会では、宮崎大学医学部長の迫田隅男先生が「歯科口腔外科の現状について」、プレストピアなんば病院の駒木幹正先生が「進化する乳癌の分類」を講演されました。また宮崎県外科医会の講演会を日本臨床外科学会の宮崎支部会に移行する検討がなされていることから、日本臨床外科医会長の跡見裕先生が「日本臨床外科学会の取り組み」と副会長の炭山嘉伸先生が「院内感染と医療経済」を講演されました。

外科医の環境は依然厳しく、外科医局への入局者の減少は続いています。その影響で、外科勤務医が不足し、仕事量は増えた上に外科医自身も高齢化しています。外科医は手術だけでなく、診断、手術、術後管理、化学療法から緩和医療まで幅広い分野を受け持つ施設がほとんどです。また、平成 19 年の第 10 回日本外科学会の

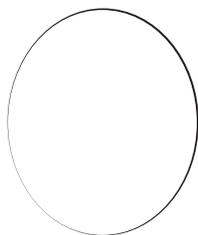
集計によると 1,264 名中 60 名( 4.8% )が医療訴訟( 判決 )の経験があり、137 名( 10.8% )が示談の経験あり、492 名( 39% )が患者や家族とのトラブルの経験があるとの報告があります。外科医は、医療訴訟や苦情といつも背中合わせの臨床を行っています。最近では、宮崎在住でいつも説明をしている家族や本人は納得された外科治療でも、宮崎以外の家族からの苦情があり苦慮しているなどの声が聞かれます。真剣に治療を行っている外科医にとって意欲を失いかねない状況です。平成 24 年度診療報酬改定においては、勤務医の負担軽減策として、手術料の増加や医師事務作業補助の加算が充実してきました。しかし、外科医の負担は軽減していない現状があります。

近医で急性胃腸炎と診断され数日後に他院で急性虫垂炎の穿孔にて手術して軽快退院された症例の家族が、初回に受診した医療機関に苦情を訴えて来た事例がありました。初期急性虫垂炎の診断は難しく、炎症所見がなく心窩部痛で受診することは普通です。数年前まではあまり問題とならなかった事例です。急性虫垂炎の可能性は否定できないことを説明する必要がありますが、どこまで説明すれば良いのか迷います。今後、医療訴訟を恐れ自己保身になって萎縮医療への道を外科医が進まないことを祈ります。

先輩外科医より、「外科医は感動を患者・家族と共有し、癒しの旅をサポートすることが大切である」と教わりました。後輩医師が背中を見ていることを忘れずに外科診療に携わっていきたいと思います。

( 理事 しろお かずさだ  
白尾 一定 )

## メディアの目



## 古事記 1300 年によせて

時事通信社宮崎支局長

まきの たつ お  
牧 野 達 夫

今年は、古事記編さんから 1300 年に当たる。10 月には、浅野温子さんが、声色を変え身振り手振りを交えながら壮大な神々のドラマを演じる「古事記読みがたり」が上演され、11 月定例県議会では、古代衣装の議員と執行部が登場し話題となった。県内では様々な取組みが行われ、古事記を身近に感じるようになった人も多いのではないだろうか。

古事記は、天武天皇に命じられて、天皇家の系譜と伝承の正しい訓みを暗誦した稗田阿礼が太安万侶に伝え、安万侶が編集して 712 年に完成した歴史書だ。律令制を確立した大和朝廷が自らのルーツを示すことで正当性を示したものといえる。

宮崎県立看護大の大館真晴准教授によると古事記が歴史的に注目されたのは、元寇の危機が迫った鎌倉時代やペリーが来航した幕末など内憂外患の時代だという。日本人がアイデンティティーを探った時期だ。

一方で、古事記は、いにしえの書でありながら、その解釈については、随時バージョンアップするのだそう。新たな出土物や技術革新による木簡の解読などで、根拠となる多くの文字資料が登場し、解釈が変わってしまうからだ。例えば、「赤玉」という言葉は、かつてはサンゴ

とされていたが、現在では琥珀^{こはく}だったと考えられる。

では、宮崎は古事記の中でどのように位置付けられるのだろうか。大館氏は「日向の地が神の国に近く、太陽に関わった重要な土地で、奈良時代からずっと日本人の心の中で大切にされてきた」と指摘する。太陽が信仰された古代、日向は太陽が照り、常緑樹が繁る生命力にあふれる南の神聖な土地として特別な意味を持った。だから死者の国から戻ったイザナキノミコトが日向の地でみそぎをし、太陽神のアマテラスオオミカミが生まれたのだという。みそぎの地を示す「竺紫の日向の橘の小門のあはき原」は、今でも神社でおはらいの際に読み上げられる言葉である。

しかし、現在の宮崎県は奈良県や島根県に比べて神話の国というイメージが弱いように感じられる。原因のひとつとして専門家による基礎研究が遅れ、発信力が弱かった点が指摘されている。来年 6 月には、全国の古事記の研究者が一同に会する古事記学会が宮崎市内で開催される。第一線の研究者が宮崎に集まる機会を生かし、県民のアイデンティティーの核となりうるような骨太のソフト整備を図ってはどうか。

## 薬事情報センターだより ( 307)

### 副作用・感染症報告制度

医薬品・医療機器等安全性情報報告制度は、医療関係者等が、日常、医療の現場においてみられる医薬品又は医療機器の使用によって発生する健康被害等(副作用、感染症及び不具合)の情報を薬事法第7条の4の2第2項に基づき、直接厚生労働大臣に報告する制度です。すべての医療機関及び薬局等が対象となり、業務上医薬品又は医療機器を取り扱う方が、医薬品又は医療機器の使用による副作用、感染症又は不具合の発生について、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止する観点から報告の必要があると判断した情報(症例)について報告することになります。感染症に関する報告については、重篤度にかかわらずすべての症例が報告の対象となります。なお、医薬品又は医療機器との因果関係が必ずしも明確でない場合であっても報告の対象となります。報告された情報は、専門的観点から分析、評価され、必要な安全対策が講じられるとともに、広く医療関係者に情報が提供され、医薬品及び医療機器の市販後安全対策の確保を図る目的に利用されます。報告は、医薬品安全性情報報告書又は医療機器安全性情報報告書に記載の上、厚生労働省医薬食品局安全対策課へ郵送又はファックスにより行う外、「厚生労働省電子申請・届出システム」を利用して電子的に行うこともできます。なお、報告様式の記入欄すべてに記入がなされる必要はなく、把握可能な範囲で報告されればよいことになっています。

企業による副作用・感染症報告制度は、医薬品等の製造販売業者等が、重篤な副作用、未知の副作用や感染症発生又はその研究報告を知ったときは所定の期間までに、薬事法第7条の4の2第1項に基づき、厚生労働大臣に対して報告することが義務づけられている制度です。報告期間は、その副作用の重篤度に応じて1日以内又は30日以内とされています。

なお、平成16年度以降に製薬企業または医療機関等から報告のあった副作用が疑われる症例報告に関する情報については、医薬品医療機器

情報提供ホームページ([http://www.info.pmda.go.jp/fukusayou/menu_fukusayou_attention.html](http://www.info.pmda.go.jp/fukusayou/menu_fukusayou_attention.html))において情報提供されています。

これらの制度に加えて、平成24年3月から、医薬品によって生じた副作用ではないかと疑われた場合、副作用が現れた本人、またはその家族がインターネットを介して報告できる患者副作用報告システムの運用が、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)により試行的に開始されました。

報告は、医薬品医療機器情報提供ホームページの患者副作用報告システム([http://www.info.pmda.go.jp/fukusayou_houkoku/fukusayou_houkoku_attention.html](http://www.info.pmda.go.jp/fukusayou_houkoku/fukusayou_houkoku_attention.html))にて、受け付けられています。報告された情報は、PMDAにおいて医薬品による副作用の発生傾向を把握する等、医薬品の安全対策を進める目的で利用されます。試行期間中に収集された報告や報告者へのアンケート調査の結果等を元に報告システムの見直し、運用方法の検討等が行われたうえで、正式に報告の受け付けが開始される予定です。報告事項は、(1)報告される方、(2)副作用が現れた方、(3)生じた副作用、(4)副作用を引き起こした医薬品、(5)副作用情報を聞くことのできる医療機関等についての5つの事項についてです。報告された情報は、個人情報を除き、PMDAから厚生労働省及びその医薬品を供給する製造販売業者へ提供されることがあるほか、安全対策の一環として広く公表されることがあります。

なお、医療関係者が、職務上、副作用を疑った場合には、医薬品・医療機器等安全性情報報告制度により、報告することに変更はありません。

### 参考資料

医薬品医療機器情報提供ホームページ  
(<http://www.info.pmda.go.jp/>)

医薬品・医療機器等安全性情報 292号  
(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## 宮崎県医師会親善ゴルフ大会

と き 平成 24 年 11 月 3 日(土・祝)

ところ ハイビスカスゴルフクラブ

恒例の県医親善ゴルフ大会が、ハイビスカスゴルフクラブにおいて開催され、20名の会員の先生方が参加されました。

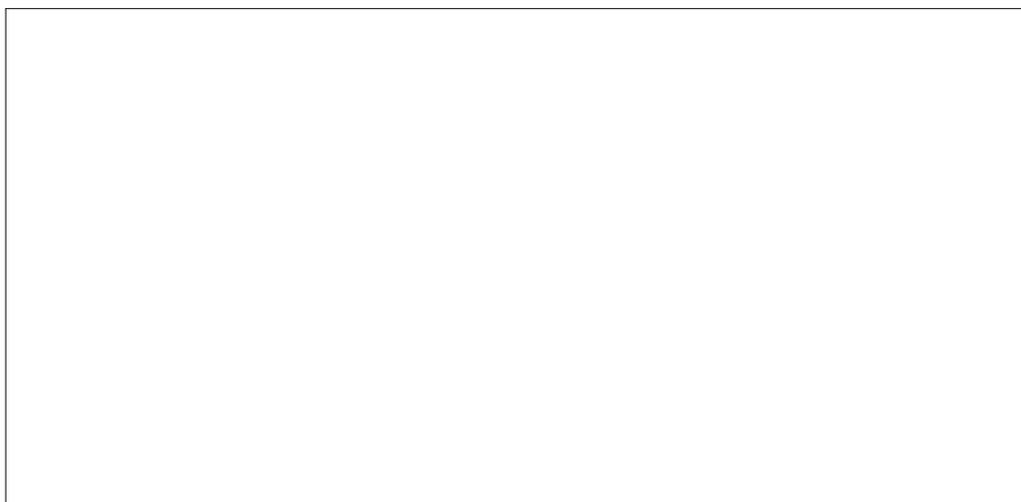
絶好のゴルフ日和のもと、熱戦が繰り広げられ、無事に大会を終了することができました。

今大会の競技方法は、18ホールズストロークプレイ ダブルペリア方式(同ネットの場合は年長者を上位)で行われ、団体戦は宮大医・日向合同チームが優勝、個人戦は、年齢別にA・B・Cの3区分に分けて行い、A：南嶋洋一先生(宮大医)、B：丹光明先生(西諸)、C：長田浩伸先生(日向)がそれぞれ優勝されました。

成績は以下の通りです。

団体戦	郡 市 名	NET合計	各 郡 市 N E T 上 位 3 名					
優 勝	宮大医・日向混成	221.6	南嶋 洋一	71.4	長田 浩伸	74.2	長田 幸夫	76.0
準優勝	宮 崎 市 B	226.6	篠原 義成	74.2	弓削 達雄	76.0	日高 正昭	76.4
3 位	宮 崎 市 A	228.6	郡山 和夫	75.8	児玉 吉明	76.4	川崎 建作	76.4

個 人 戦		会 員 名	OUT	IN	GROSS	HD	NET
A	優 勝	南嶋 洋一	44	43	87	15.6	71.4
	準優勝	弓削 達雄	41	41	82	6.0	76.0
	3 位	日高 正昭	49	49	98	21.6	76.4
B	優 勝	丹 光 明	36	42	78	6.0	72.0
	準優勝	篠原 義成	46	51	97	22.8	74.2
	3 位	郡山 和夫	50	51	101	25.2	75.8
C	優 勝	長田 浩伸	46	45	91	16.8	74.2
	準優勝	内村 利博	41	39	80	4.8	75.2
	3 位	義川剛太郎	43	43	86	10.8	75.2
B G 賞		丹 光 明	78				
N P 賞		弓削 達雄, 内村 利博, 長田 幸夫, 義川剛太郎, 篠原 義成, 前田 謙治					



## 団体戦優勝

## 宮大医・日向混成チーム

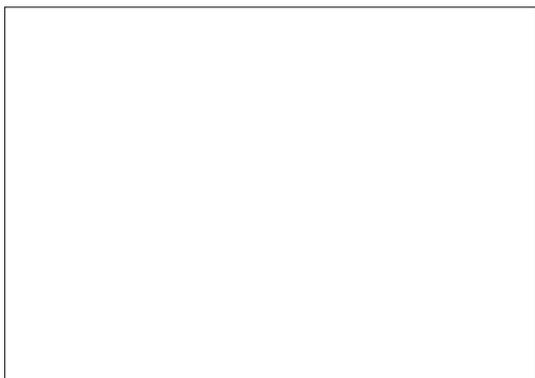


11月3日は晴天に恵まれ、多少の風はありましたが絶好のコンディションの親善ゴルフ大会でした。

内村先生、前田先生と楽しくラウンドさせていただきました。天候と同伴者に恵まれても、なかなかうまくいかないいつものゴルフでしたが、宮大医・日向混成チームの優勝メンバーに加わることができました。優勝メンバーの南嶋先生、長田(幸夫)先生には、2(数)年前大学で教えていただいており、このような機会写真をご一緒させていただくのは大変緊張しました。両先生をはじめ、他の諸先輩方がはつらつとプレーされるお姿を拝見し、自分も長く診療、ゴルフに励んでいくことができればとの思いを強くしました。また普段お会いすることができない先生方との親睦を深めることができました。関係する皆様に感謝いたします。(長田浩伸 記)

## 総合優勝

## 宮崎大学医学部医師会 南嶋 洋一



7歳・喜寿で迎えた今回、団体戦、個人戦、個人総合優勝の三つの部門で表彰を受けました。この想定外の成績には、三つの要因があります。すなわち、いい天気・同伴競技者(稲倉・弓削・長田の三先生)・運(隠しホール)の三つに恵まれたことです。

実は、70歳・古稀に当たる平成17年、本大会の個人戦A組と団体戦の二つの部門で優勝し、この欄に感想を記しました(日州医事第675号、35頁)。

心技体の三つが日々衰えて行く中で、「ゴルフができる喜び」を胸に生きて行きたいと思います。「二度ある事は三度ある」と信じて。

## 各種委員会

## 公衆衛生・感染症委員会

と き 平成 24 年 11 月 12 日(月)

ところ 県医師会館

県主催の「麻しんの検証会議」に引き続いて開催した。

1. 新型インフルエンザ等感染症発生時の医療体制の確保について

県健康増進課より説明とお願いがあった。

新型インフルエンザ行動計画においては、「国内(地域)発生早期」の段階では発生国からの帰国者や国内患者の濃厚接触者で発熱・呼吸器症状等を有する者については、「帰国者・接触者外来」で対応をする。また、「国内(地域)感染期」に入ると原則として一般の医療機関においても診療を行う。この医療体制について、今後、保健所から各都市医師会に相談があるのでご協力をお願いしたい。

2. 感染症等発生時における連絡体制について

感染症が集団発生した際等の連絡体制について再確認を行った。

集団発生等した場合、保健所は郡市医師会に情報提供し、郡市医師会は会員へ FAX 等でお知らせをしている。しかし患者は他

の地域の医療機関を受診する可能性があるため、県医師会で把握して迅速に県医 FAX ニュースなどでお知らせをしたい。

医療機関は感染症の集団発生があった場合は、保健所に届けるだけでなく各郡市医師会にも連絡をしていただき、各郡市医師会は県医師会に連絡をしていただきたい。

出席者 - 岡山委員長, 黒田副委員長, 原田・  
鮫島・永友・黒木・峰松・和田・藤崎・  
三宅委員

県健康増進課 - 和田課長(重複),  
肥田木感染症対策室長,  
永野主幹

(県医) 吉田常任理事, 峰松理事(重複),  
小川課長, 久永課長補佐

## お知らせ 年末・年始の休館について

県医師会館(医師会, 医師国保, 医師協同組合・エムエムエスシー, 病院厚生年金基金)は年末・年始休業のため、下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

記

期 間 平成 24 年 12 月 29 日(土) ~ 平成 25 年 1 月 3 日(休)

緊急連絡先 総務課長 090-9572-1385

事務局長 080-5266-7453

## お知らせ

平成 24年度日本医師会認定医療秘書養成制度  
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも養成校では力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内 3 教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

(平成 24年 12月 3日現在)

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者 24名 (女 24名)	就職希望者 35名 (男 4名, 女 31名)	就職希望者 8名 (女 8名)
連絡先: 0985-85-0146 宮崎市清武町加納 1415 担当: 佐土原 敦 谷口 和子	連絡先: 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当: 福元 進	連絡先: 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当: 原口桂一郎 中山さおり 吉原真由美

## 日医インターネットニュースから

### 櫻井副大臣に指導等に関し要望書提出 中川副会長、鈴木常任理事

中川俊男副会長は 10 月 19 日、鈴木邦彦常任理事とともに厚生労働省を訪問し、櫻井充厚労副大臣に「保険医療機関および保険医に対する指導等について」の要望書を提出した。保険医療機関および保険医に対する診療報酬の請求等に関する指導は、「指導大綱」(平成 7 年 12 月 22 日付保発第 11 号厚生省保険局長通知)に基づき実施されているが、さまざまな問題があるとし、以下の 5 項目を要望書にまとめた。

(1)個別指導数を毎年 8,000 か所としている数値目標のあり方の再検討、(2)「類型区分ごとのレセプト 1 件当たりの平均点数が高い順に上位より概ね 8 % の範囲」を指導対象としている保険医療機関の選定方法の見直し、(3)集団的個別指導の対象医療機関に対する当該類型区分ごとの平均点数等の情報開示、地方厚生局における都道府県類型区分ごとの平均点数の開示、(4)施設基準の適時調査、医療機関に対する施設基準の解釈等の説明の徹底、(5)教育的効果を考えた新規指定医療機関に対する個別指導のあり方の検討、新規指定時の保険制度や請求事務等の丁寧な説明の要望 など。

このほか、個別運用上の課題の柔軟な解決や、特段に問題のない新規指定医療機関等への個別指導や適時調査の際に、非常に高圧的な態度をとる指導官が存在すると報告を受けている状況を示し、厳正な対処を要望している。

中川副会長は、「診療の内容ではなく、高点数のみを見て指導対象とされている。特段問題のない医療機関であっても、高点数が継続した場合、集団的個別指導から個別指導に切り替わり、医療機関にとって大きな負担となっている」と説明。また、「原則として年 1 回」とされている施設基準の適時調査が、数年に 1 回程度しか行われていない上に、誤りが確認された場合には最大 5 年まで遡り返還を求められることが医療機関には非常に大きな経済的負担となっていると指摘。さらにその背景に、行政機関が施設基準運用の解釈を間違っているケースもあると指摘した。

要望書を受けて、櫻井副大臣は、高点数で指導対象となった医療機関について、1 度問題が

ないと判断されたところは、翌年から指導対象から外せるような仕組みづくりを考えたいとし、指導・監査の目的、指導・監査の対象と選定手段の正当性、人員の体制などを担当部署と検討するとした。さらに、個別指導や適時調査について、録画や第三者の立会い等を可とするような、可視化に向けた検討も行っていきたいとした。(平成 24 年 11 月 6 日)

### 生活習慣病薬の OTC 化は慎重に 日医、櫻井副大臣に要請

日本医師会の執行部は 11 月 8 日、櫻井充厚労労働副大臣を訪問し、生活習慣病治療薬のスイッチ OTC 化には慎重に対応するよう要請した。また看護師と准看護師の同一試験日問題をめぐり、別の日程にずらすよう厚生労働省に後押しを求めた。櫻井副大臣と面談したのは、中川俊男副会長、藤川謙二常任理事、鈴木邦彦常任理事の 3 氏。面談後、日医執行部はメディアファクスに対し、OTC 化と試験日程のいずれの問題についても「櫻井副大臣の理解は得られた」と語った。

日医執行部の 3 氏は 40 分余り櫻井副大臣と意見交換した。面談後、中川副会長はメディアファクスに対し「生活習慣病対策は運動療法と食事療法が基本という原点に立ち返るべき。生活習慣病の治療薬を安易にスイッチ OTC 化すべきではない。そこは櫻井副大臣と共通認識を持つことができた」と述べた。また「医療機関で経過をフォローするのは基本中の基本。その原点を忘れてはいけないという点でも共通認識を持った」と語った。その上で、今後を見据えて「(薬事・食品衛生審議会の)一般用医薬品部会と薬事分科会がこれからあるので、そこで別途やっていく。真正面から議論していくということだ」と意気込みを見せた。審議会の場で引き続き日医の主張を訴えていくという。(平成 24 年 11 月 13 日)

### 副反応報告義務付けへ 予防接種部会

厚生労働省は予防接種の副反応報告基準の見直しに向けて、厚生科学審議会・感染症分科会予防接種部会の下に作業班を設置することを決めた。11 月 14 日の予防接種部会に提案し了承された。ワクチンの種類によって副反応報告基準に微妙な違いがあることや、現行制度では医療

機関から市町村・都道府県を通じて厚労省に提出する副反応報告が義務付けられていないなどの課題があるため見直す。

厚労省は副反応報告基準を見直す際の方向性として、アナフィラキシーショックなど、予防接種時に想定される副反応をあらかじめリストアップしておき、症状が発生するまでの目安時間も例示しておくことを提案した。その上で副反応の報告を義務付ける方針。例示したものの以外で副反応の可能性が疑われるケースについても幅広く報告を求める。

#### BCG 接種年齢引き上げ

この日の部会では、BCG の接種年齢を現行の「生後 6 か月未満」から「生後 1 歳未満」に引き上げることも了承した。早期の接種を促す観点から、接種を推奨する期間（標準的接種期間）については「生後 5 か月以上 8 か月未満」とした。

BCG の接種年齢については、2005年に「4 歳未満」から「生後 6 か月未満」に引き下げたところ、接種後に骨炎・骨髄炎の副反応報告が増加した。そのため厚科審・感染症分科会結核部会は、BCG の接種年齢を引き上げる方向で意見をまとめた。（平成 24年 11月 16日）

### 皆保険堅持へ「国民運動」を実施

#### 国民医療推進協

医療関連 40団体で組織する国民医療推進協議会（会長＝横倉義武・日本医師会長）は 11月 1日、東京・本駒込の日本医師会館で総会を開き、医療の営利産業化への反対や消費税問題の抜本的解決を盛り込んだ決議を採択した。来月 21日には日医会館で総決起大会を開催し、総選挙の選挙期間を含む来月下旬まで国民運動を展開する。

横倉会長は「解散総選挙が目前である今、国民皆保険の堅持と地域医療の再興を願う国民の声を政府に届けたい」と意欲を示した。

国民運動は国民皆保険の堅持と地域医療の再興が目的。具体的には医療に関する消費税問題の抜本的解決、医療の格差につながる環太平洋連携協定（TPP）交渉への参加反対、日本再生戦略に見る市場原理主義への回帰反対の 3点を柱とした。運動期間は来月下旬まで。総決起大会は当初、来月 14日を予定していたが、解散総選挙の投開票の日程に近くなることから 1週間延期した。都道府県医療推進協議会に対して地域集会の開催や地方議会への働き掛けなども依頼するとした。

総会で横倉会長は医療をめぐる諸問題について「国民が安心して暮らせる社会を実現するために看過できない」と説明した。大久保満男副会長（日本歯科医師会長）は「歴史は繰り返すが同じ姿ではない。注意深く見ていくことが大事」と述べ、市場原理主義の揺り戻しに警戒感を示した。「国民皆保険は国の宝。守らないといけない」と決意を述べた。児玉孝副会長（日本薬剤師会長）は社会保障・税一体改革に対する国民、患者の不安が解散総選挙につながった面もあると指摘。「患者、国民のためにしっかりと受け止めて、そうならない方向性にしなければならない」と述べた。

今村聡副会長が医療機関の控除対象外消費税問題について解説し、「解決なくしては国民皆保険が崩壊する」と危機感を示した。中川俊男副会長は日本再生戦略につながるこれまでの政府の政策を紹介し、「医療の営利産業化に向けた動きが強まっている」と指摘した。

（平成 24年 11月 20日）

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

#### 日医インターネットニュースへのアクセス方法

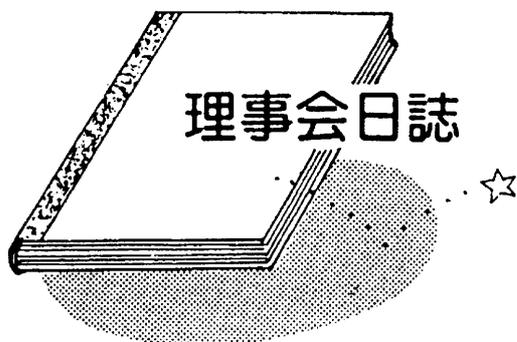
日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

#### メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID 会員 ID 番号（日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている 10桁の数字）を 0 も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の 6 桁の数字を半角で入力  
例）193年 5月 1日 生まれの場合、310501



平成 24 年 10 月 16 日(火)第 19 回常任理事協議会

医師会関係

(協議事項)

1. みやぎん経済研究所機関紙へのテーマ「県内地域医療の最前線」の寄稿について

地域医療の実情について、現在の取組みや今後の課題、将来への展望等を紹介するために企画された 12 回連載の特集で、来年 1 月号の寄稿について、協力を行うことが承認された。なお、原稿は、富田副会長が医療制度等を中心にまとめることとなった。

2. 12/2 日(日医)日本医師会医療基本法(仮称)制定に関するシンポジウム開催のご案内

日医主催のもとに国会議員や政策担当者を交え意見交換を行うことによって、医療提供者と患者の信頼関係を強固なものとする医療基本法の制定を目指し開催されるシンポジウムで、参加希望者は締め切りまでに事務局に申し出ることとなった。

3. 後援・共催名義等使用許可について

12/2 日(宮崎市民プラザ)平成 24 年度一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会研究大会の名義後援について

支援困難事例へのアプローチをテーマに開催される研究大会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 業務委託について

平成 24 年度広域予防接種業務委託契約の変更について

平成 24 年 9 月 28 日の予防接種法実施規則等の改正に伴い、4 種混合(DPT-IPV)ワクチンを広域に追加し、改めて各市町村と契約を行うことが承認された。

5. 平成 24 年度宮崎県感染症危機管理研修会について

麻しんの発生等を踏まえ、県内の医師及び看護職員、保健所の感染症担当者や学校関係者等を対象に行われる研修会で、会場及びテレビ会議システムの利用等や広報について協力することが承認された。

6. 12/1 日(日医)平成 24 年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催について

シンポジウムのテーマを「改正母体保護法の課題」と題し開催される講習会で、濱田常任理事と県産婦人科医会が推薦する医師 1 名の出席が承認された。

7. H 25.2 /9 日(日医)平成 24 年度日本医師会医療情報システム協議会の開催について

「IT で紡ぐ医療連携」をメインテーマとし、4 つのシンポジウム「事務局セッション」、「ORCA と認証局」、「レセプトデータの行方」、「医療連携について」からなる協議会で、荒木常任理事が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 10/16 日(延岡)医療機器開発 / 医療サービスに繋がる IT × 医療のためのネットワーク形成事業検討委員会について
3. 10/11 日(日医)産業保健活動推進全国会議について
4. 10/15 日(県医)県産業保健連絡協議会等について

5. 10/13(土)・14日(東京)他職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業における都道府県リーダー研修について

6. その他

二次医療圏のデータベースについて

国際医療福祉大学大学院教授の高橋泰先生の発表されたデータの紹介が行われた。

医師連盟関係

(協議事項)

1. 自民党ニューリーダー育成塾「ひむか」第二期生募集について

政治に関心があり自己研鑽に励みたい方、また、次代のリーダーを目指すべく、学習に意欲的な方を募集するもので、郡市医師連盟等を通じて募集活動に協力することが承認された。

2. 北朝鮮に拉致された日本人を救出するための署名について

自民党県連を通じて要請があったもので、署名活動に協力することが承認された。

平成 24年 10月 23日(火)第 20回常任理事協議会

医師会関係

(協議事項)

1. 11/15(木)JA A Z M 本館)社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について

5医療機関を対象に行われる個別指導で、石川常任理事を立会人として派遣することが承認された。

2. 審査委員の推薦について

一身上の都合による審査委員の辞任申し出があり、後任の人選を宮崎市郡医師会にお願いすることが承認された。

3. 平成 24年度複十字シール募金運動について  
結核や肺がん等の胸部に関する疾患をな

くして明るい社会をつくるため実施される募金活動で、郡市医師会への周知等できる範囲で協力することが承認された。また、実施主体の県健康づくり協会にも広報活動等について要望を行うこととなった。

4. 12/13(木)日医)平成 24年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催について

日医医賠償保険の運営報告や都道府県医師会の活動状況報告等が行われる連絡会で、濱田常任理事が出席することが承認された。

5. 平成 24年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会開催時における「医療事故紛争対策と活動状況」の発表依頼について

日医から、連絡会における「医療事故紛争対策と活動状況」について本県に発表依頼があり、出席する濱田常任理事にお願いすることが承認された。

6. 平成 24年度メディカルトライアングルプログラム学生向けセミナー・交流会へのご協力について

女性医師支援センター事業(厚労省委託事業)の一環として、日医が医学生、研修医等をサポートする会に対して費用補助等を行っている制度を利用するもので、本県として、11月 28日(水)宮大清水キャンパスで、学生向けセミナーを開催することが提案され承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 10/10(火)支払基金)支払基金幹事会について

3. 10/16(火)日医)日医理事会について

4. 10/17(水)日医)日医有床診療所に関する検討委員会について

5. 10/17(水)県総合保健センター)県健康づくり協会理事会について

6. 10/17(水)県医)県うつ病医療連携検討部会について

- 7. 10/18(木) 日医)日医公衆衛生委員会について
- 8. 10/22(月) 県医)介護保険委員会について
- 9. 10/20(土) 県医)産業医研修会(実地)について
- 10. 10/19(金) 県医)治験セミナーについて

#### 医師連盟関係

##### (協議事項)

- 1. 10/25(木) 東京)国民の生活が第一結党記念パーティーの開催について  
 急な案内で、東京での開催でもあることから、今回は協力を見送ることとなった。

#### 平成 24 年 10 月 30 日(火)第 8 回全理事協議会

開会に先立ち、立元常任理事から、10月25日に急逝された佐藤常任理事のご冥福を祈り、黙禱を捧げたいとの提案があり、全理事を含む出席者全員で1分間の黙禱を捧げた。また、稲倉会長が、葬儀等が滞りなく終了したことを報告すると共に、故人の小児医療並びに医師会活動等に関するご功績とご尽力に対し感謝の言葉を述べ弔意を表した。

#### 医師会関係

##### (議決事項)

- 1. 社保審査委員の推薦について  
 辞任に伴う後任の推薦依頼で、宮崎市郡医師会の岡留敏秀先生を推薦することが承認された。なお、任期は、残任期間の平成25年5月31日までとなる。
- 2. 県医師会会館建設協力債の現況及び償還者あてのご案内について  
 前年度は償還の応募が少なく、その残金と合わせ今年度は計7,000万円が対象となるとの説明があり、償還対象者に案内を行うことが承認された。
- 3. 12/4(火)各都市医師会長協議会について  
 11/20に開催される都道府県医師会長協議会の報告を中心に開催される会長協議会で、

日程の確認等が行われ、各都市医師会に案内することが承認された。なお、当日の次第については、各都市医師会の提案事項等を踏まえ改めて検討することとなった。

- 4. H 25.1 /8(火) 県医)県福祉保健部・病院局との懇談会について

主に本会から提出する要望書について協議する懇談会で、開催案内とスケジュールについて確認が行われた。県への要望については、都市医師会に対し照会するとともに、内容及び追加項目を含め改めて検討することとなった。

- 5. 11/30(金) 日医)平成 24 年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会の開催について

「勤務医の組織率向上に向けた具体的方策」と題したシンポジウム等が行われる連絡協議会で、上田理事が出席することが承認された。

- 6. 九医連・九医学関係について

##### H 25.1 /26(土) 宮観ホテル)九医連第 2 回各種協議会の開催種目について

九州各県に照会した結果及び過去の開催実績を元に、医療保険対策、介護保険対策、地域医療対策の3種目を開催することが承認された。また、富田副会長から、前回の地域医療対策協議会開催時に提案があり九州各県への意向調査でも開催希望の声が多数を占めたことから、各種協議会の翌日の1/27(日)に医療情報システムの担当理事者会を開催したい旨の提案があり承認された。

11/24(土) シーガイア)九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会における日本医師会への質問・要望事項について

中央情勢報告の中で、日医横倉会長にご説明いただくもので、事前に照会の結

- 果，福岡県 1 題，鹿児島県 1 題，沖縄県 3 題の提出があり，石川常任理事がまとめる在宅医療に関連する質問と合わせ，計 6 題を日医に提出することが承認された。
- 10/30(火) シーガイア九州医師会医学会準備会について
- 11/28(金・祝)に開催される九医連委員・九州各県役員合同懇親会の際，予定されているアトラクション，出されるメニュー等について，評価表を元に検討を行っていただきたいとの説明が行われた。
- 7 . 11・ 12月の行事予定について
- 11月の追加行事と 12月の行事について確認が行われた。
- ( 報告事項 )
- 1 . 週間報告について
  - 2 . 10/25(木) 宮観ホテル 宮崎市郡医師会例会・しのめ医学会・特別講演会について
  - 3 . 10/28(日) 日医 九州ブロック日医代議員連絡会議及び日医臨時代議員会について
  - 4 . 10/29(月) 宮観ホテル 宮崎政経懇話会について
  - 5 . 10/30(火) メディキット県民文化センター みやざき愛の献血運動推進県民大会について
  - 6 . 10/26(金) 九州厚生局宮崎事務所 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
  - 7 . 10/24(火) 日医 日医地域医療対策委員会について
  - 8 . 10/26(金) 日医 日医医療秘書認定試験委員会について
  - 9 . 10/29(月) 県庁 医療機能情報提供システム選定委員会について
  10. 10/25(木) 県医 在宅医療に関する九州厚生局宮崎事務所との意見交換について
  11. 10/29(月) 県医 高次脳機能障がい講演会について
  12. 10/2(土) 県消防学校 国民保護共同実動訓練について
  13. 10/29(月) 県庁 県医療費適正化計画策定検討委員会について
  14. 10/30(火) 県庁 県訪問看護推進協議会について
  15. 10/25(木) 県医 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
  16. 10/4(木)・5(金) 日医 日医社会保険指導者講習会について
  17. 10/6(土) 愛媛 全国医師会勤務医部会連絡協議会について
  18. 10/18(木) JA AZM 本館 社会保険医療担当者( 医科 )の個別指導について
  19. 10/2(土) 県医 日医社会保険指導者講習会復講について
  20. 10/3(日) 県医 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について
  21. 10/15(月) 県医 広報委員会について
  22. 10/22(月) 県医 広報委員会について

## 県 医 の 動 き

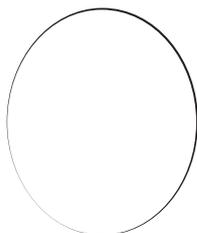
( 11 月 )

1	社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (池井常任理事) 日医設立記念医学大会(日医) 宮大経営協議会(会長) 宮大経営協議会学外委員懇談会(会長)	17	九州学校検診協議会専門委員会(福岡) (吉田常任理事) 都城看護専門学校創立 60 周年記念式典(会長) 九州各県学校保健担当理事者会(福岡) (吉田常任理事) 日臨技九州支部医学検査学会開会式・懇親会 (会長)
2	宮大救命救急センター逆搬送体制構築協議会 (会長他)	19	産業保健推進連絡事務所運営協議会(会長) 県感染症危機管理研修会
3	(文化の日) 県医親善ゴルフ大会(会長他) 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会(古賀常任理事) 全国医師協同組合連合会記念総会(東京) (立元常任理事)	20	全医秘協医療保険請求事務実技試験(事務局) 日医理事会(日医)会長) 都道府県医師会長協議会(日医)会長他) 県国民保護共同実動訓練反省会(事務局) 医協打合会(立元常任理事) 第 23 回常任理事協議会(富田副会長他)
4	全国医師協同組合連合会記念総会関連行事(東京) (立元常任理事) 九医学記念行事・テニス大会	21	医協会計監査(会長他)
5	産業医研修会 生活習慣病検診従事者研修会(会長他) 県内科医会誌編集委員会	22	地域リハビリテーション広域支援センター連絡 会議(石川常任理事)
6	県医療計画策定委員会(富田副会長他) 治験審査委員会(富田副会長他) 第 2 回常任理事協議会(会長他)	23	(勤労感謝の日) 九医連常任委員会(会長他) 九医連臨時委員総会(会長他)
7	顧問弁護士・会計士との懇談会(会長他)	24	九医連委員・九州各県医師会役員合同協議会 (会長他) 九州医師会総会・医学会(会長他) 県有床診療所協議会総会(会長他)
8	県外科医会全理事会(古賀常任理事) 県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事)	25	九医学分科会・記念行事(会長他)
9	全医秘協医療保険請求事務実技試験(事務局)	26	広報委員会(荒木常任理事他)
10	全国学校保健・学校医大会(熊本)会長他)	27	医協理事・運営委員合同協議会(会長他) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (河野副会長) 医協理事会(会長他) 第 9 回全理事協議会(会長他)
11	世界糖尿病デー市民公開講座	28	看護師等医療従事者の「雇用の質」の向上のため の企画委員会(牛谷常任理事) 県社会福祉協議会不動産担保型生活資金審査委 員会(立元常任理事) 労災診療指導委員会(河野副会長) メディカルトライアングルプロジェクト学生向 けセミナー・交流会(荒木常任理事) 県医協会計監査(会長他)
12	研修管理委員会(会長) 麻しんの検証会議・県医公衆衛生・感染症委員 会(吉田常任理事)	29	社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (石川常任理事) 広報委員会(青木理事)
13	県医療審議会(会長他) 医療現場のワークライフバランスセミナー (会長他) 第 22 回常任理事協議会(会長他)	30	都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会(日医) (上田理事) 日医医療秘書認定試験委員会(日医)富田副会長) 生活習慣病検診従事者研修会(古賀常任理事)
14	全体課長会(事務局) 支払基金幹事会(会長) 世界糖尿病デー県庁ライトアップ(会長)		
15	社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (石川常任理事) 広報委員会(青木理事)		
16	県政報告会・懇談会(会長) 産業医研修会 医師国保理事会(秦理事長他) 県産婦人科医会献金委員会(濱田常任理事)		

## ニューメンバー

都城市  
城南病院

伊 達 晴 彦  
だ て はる ひこ



**住 所** 宮崎市

**専門科目** 循環器内科

**家族構成** 妻，長男(小3)，  
次男(小1)，長女(小1)

**略 歴**

昭和 62年 大分医科大学卒業

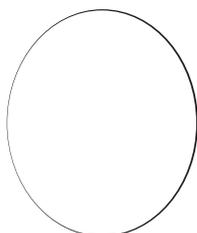
同 年 宮崎医科大学第1内科入局

平成 24年 宮崎大学救急部所属

**抱 負** 宮崎大学附属病院に循環器内科医として約 20年勤務し、心臓カテーテル検査および治療に従事してきました。平成 24年からは救急部に所属し、救命救急センターおよびドクヘリ開設に携わりました。この度平成 24年 9月から、都城市城南病院の院長に就任しました。99床を有する病院として、地域医療、特に救急病院の後方支援にお役にたてればと考えております。今後とも御指導・御鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

日南市  
谷口病院

野 田 裕 弘  
の だ やす ひろ



**住 所** 日南市

**専門科目** 一般外科，消化器科

**家族構成** 妻，長男(25歳)，  
長女(20歳)

**略 歴**

昭和 52年 県立大宮高校卒業

昭和 58年 宮崎医科大学卒業

同 年 宮崎医科大学第2外科入局

**趣 味** 釣り

**抱 負** 本年 6月より日南市の谷口病院に勤務しております。精神科の病院のため、当たり前に行っていた問診や検査が思うようにいかないこともあり、改めて理学所見の大切さを痛感しています。今まで培ってきた経験を生かし、少しでも地域の医療に貢献できればと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。釣りは学生時代からの趣味ですが、今の時期はエギング中心です。日南海岸は有数の釣り場が多いので、楽しみです。

## 追悼のことば

都城市北諸県郡医師会

小 牧 一 磨 先生

(昭和 14 年 1 月 10 日生 73 歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き小牧一磨先生のご葬儀が執り行われるにあたり、先生のご霊前に、都城市北諸県郡医師会を代表し心より謹んで、お別れの言葉を申し上げます。

先生は、これまで地域医療一筋にご活躍をされてこられました。

先生は、5 年程前にご病気をされましたが、元気に診療をされてこられました。2 か月程前に体調を崩され、ご入院されましたので、私ども会員一同、一日も早いご回復を念じておりました。

しかし先生は、奥様やご家族の手厚い看護にもかかわらず、去る 10 月 18 日の午後 7 時 17 分に帰らぬ人となりました。突然の知らせに驚き、私ども医師会の重鎮ともいべき先生を失った悲しみで、申し上げる言葉もございません。

先生の訃報の知らせは、全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

ましてや、奥様をはじめ、ご家族、ご遺族の皆様方のお悲しみは、如何ばかりかとお察し申し上げます。会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和 14 年 1 月 10 日、4 人兄弟の長男として、三股町にお生まれになりました。長じて医学の道を志し、昭和 38 年に鹿児島大学医学部をご卒業され、同大学医学部整形外科学教

室に入局し、医師としてのスタートをきられました。その後、昭和 45 年に鹿児島県立大島病院、昭和 46 年に国立鹿児島病院、昭和 48 年からは小林市立市民病院に勤務され研鑽をつまれました。昭和 50 年には地域医療に貢献されるべく、都城市年見町に「小牧整形外科医院」を開業されました。以来、今日まで、3 年にわたり、地域医療にご尽力されてこられました。今までのご功績に対し、平成 20 年に医療功労として、宮崎県知事表彰、平成 22 年には日本公衆衛生協会会長表彰を受けておられます。

先生は、私ども医師会活動におきましても、多忙な診療の傍ら、都城市北諸県郡医師会理事として平成 6 年から 4 年間、産業医労災医部会を担当されました。副会長を平成 12 年から 5 年間、病院部会会長を平成 14 年から 8 年間、お引受けいただき、多大なるご尽力をいただきました。

先生は、看護師の養成にも積極的に取り組まれ、都城看護専門学校の講師を 15 年間務められました。第 12 代校長にも就任され、看護師の育成に多大な貢献をされています。

宮崎県医師会におきましては、理事を平成 14 年から 3 年間、病院部会理事を平成 16 年から現在まで、整形外科医会評議員を平成 12 年から 6 年間、労災部会理事を平成 18 年から 4 年間、労災部会部会会長を平成 22 年から現在まで務めておられます。

また、都城市立上長飯小学校の学校医を昭和 5 年から現在まで務め、児童生徒の保健衛生並びに健康管理に精力的に取り組まれました。これらのご功績に対し、平成 10 年に学校保健功労として、都城市教育長表彰を受賞されておられます。

先生は、お子様が 3 人おられますが、3 人と

も医師としてすでにご活躍中であり、先生の後継者として立派にご意志を継いで地域医療に取り組みられておられ、先生もさぞかしご安心のことと思います。

先生は、若いころは釣りによく行かれていたそうですが、開業してからは、患者さんのため、地域のためと診療一筋に生きてこられたと伺っております。これからは、遥か浄土にて、好きな釣りにいそまれることでしょう。

小牧先生、惜別の情、尽くし得ませんが、こ

こに謹んで先生のご霊前に哀悼の意を捧げ、先生がこれまで地域医療に傾けられましたご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を表し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます、お別れの言葉と致します。

平成24年10月21日

都城市北諸県郡医師会

会長 飯田正幸



## 追 悼 の こ と ば

宮崎市郡医師会

佐 藤 雄 一 先生

(昭和 23年 1月 7日生 65歳)

弔 辞

今は亡き、故 佐藤雄一先生の告別式が執り行われるにあたり、宮崎県医師会を代表して、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

10月 25日午前 4時 10分、先生がお亡くなりになった

との突然の訃報に接し、にわかには信じられず、会員・役職員一同、深い悲しみに包まれております。

そして、今ここに、先生の御遺影に向かい、お別れの言葉を申し上げる事になろうとは、誠に残念、痛恨の極みでございます。

ましてや、奥様をはじめ御家族の皆様方のお嘆きは如何ばかりかとお察し申し上げ、衷心より哀悼の意を捧げる次第でございます。

先生は、昭和 23年 1月 7日に鹿児島市にお生まれになり、医師であられた父、^{まもる}衛先生の大きな影響を受けられ、幼い頃から医学の道を志し、昭和 4年、宮崎県立大宮高等学校から鹿児島大学医学部に進学されました。

昭和 4年 3月、鹿児島大学医学部を優秀な成績で御卒業になられた後、同年 6月から鹿児島大学小児科学教室に入局され、県立宮崎病院での研修、小林市民病院への出向で、幾多の研鑽を積まれ、昭和 5年 4月、宮崎医科大学小児科に入局され、助手、講師として御勤務された後、昭和 5年 4月県立宮崎病院小児科医長に御就任されました。その後、平成 3年 11月、父衛先生が開業されておられました、佐藤小児科を御継

承されました。以来、今日まで、40年有余の歳月をひたすら医療現場の第一線において、昼夜の別なく診療に献身的に従事され、小児科医療の充実と地域住民の健康福祉の向上発展に御尽力いただきました。先生の誠実で飾り気のない、そして温かいお人柄は、子どもたち、地域の人々にも親しまれ、多くの患者さんから信望を集めて、地域に根ざした小児診療活動を展開され、我々医師会員にとりまして、正に範たるものでありました。

先生は、医師会活動にも御活躍いただき、宮崎市郡医師会理事 12年、宮崎県医師会常任理事 5年、宮崎市郡医師会病院運営委員 6年、日本医師会の周産期・乳幼児保健検討委員会委員 3年など多くの要職を歴任され、地域医療並びに医師会の充実発展、会員の融和・団結に献身的にお取り組みいただきました。

特に、宮崎市郡医師会在職中には、宮崎市小児診療所の開設計画から携わり、平成 16年 6月に有床診療所を開設。このことにより、入院を必要とする小児患者が 365日、24時間いつでも入院できる医療環境を確保していただきました。また、宮崎県医師会では、会計担当理事として県医師会の公益法人化に尽力いただき、まさに県医師会の屋台骨を支えていただいております。

その他、宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員を 2年の長きに渡りお務めいただき、その御功績により、平成 16年 10月厚生労働大臣表彰を授与されております。

また、先生は、御多忙な診療の傍ら、小戸小学校、宮大附属幼稚園、高千穂幼稚園、野の花幼稚園の園医として 15年の永きに亘り、児童・園児の健康管理や衛生活動に多大な御貢献をいただきました。

平成20年4月には、宮崎県小児科医会の会長に御就任され、会員からの信頼も厚く、文字通り、県内の小児科医の大黒柱として、ご活躍の日々でございました。

一方、診療を離れられますと、毎朝、健康管理のためにウォーキングをされたり、美食家の先生は、美味しい料理を見つけては遠征され、お酒・ワインにも精通されておられました。

また、“カバ”のグッズの収集をご趣味とされ、子どもたちから“カバ先生”の愛称で親しまれておられました。

また、先生は御家庭にありましては、慈しみと優しさをもって導き育てられました2男1女の子がおられますが、御長男の潤一郎先生

は、医師として第一線で御活躍中であり、後顧の憂いなきものと存じます。

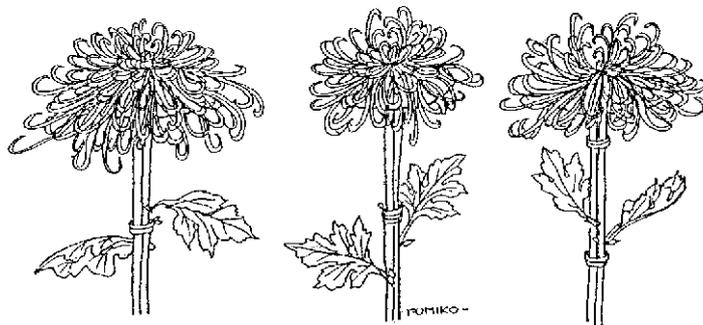
私ども会員一同は先生が尽くされました小児医療及び地域医療の充実に、なお一層の努力をして参りたいと存じます。

佐藤雄一先生、惜別の情、尽くし得ませんが、ここに謹んで先生の御霊前に哀悼の意を捧げ、永年の御功績に心から感謝と敬意を表し、御冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成24年10月27日

宮崎県医師会

会長 稲倉正孝



書籍申込のご案内

## ドクターバンク情報

（無料職業紹介所）

平成 24年 1月 15日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 5人

#### 1) 男性医師求職登録数 5人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	3	1	2
放射線科	1	1	0
整形外科	1	1	0

#### 2) 女性医師求職登録数 0人

### 2. 斡旋成立件数 42人

	男性医師	女性医師	合計
平成 24 年度	1	1	2
平成 16年度から累計	30	12	42

### 3. 求人登録 88件 310人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	97	71	26
外科	29	23	6
整形外科	21	17	4
精神科	20	15	5
循環器科	15	15	
脳神経外科	12	9	3
消化器内科	13	13	
麻酔科	9	6	3
眼科	9	7	2
放射線科	9	9	
小児科	6	5	1
呼吸器内科	5	5	
リハビリテーション科	5	3	2
血液内科	3	3	
神経内科	6	6	
救命救急科	3	3	
健診	3	2	1
産婦人科	2	2	
泌尿器科	1	1	
検診	2		2
皮膚科	2	2	
人工透析	2	2	
耳鼻咽喉科	2	2	
その他	34	31	3
合計	310	252	58

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
150005	医)わか会ピア・メンタル ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	2	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳整放麻内	8	常勤・非常勤
160017	医)prestピア プレストピアなんば病院	宮崎市	乳腺内	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精内放	3	常勤
160031	医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼神内眼耳鼻総診呼外, 循環病	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	内精	3	非常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	内消内内泌糖内呼放, リウマチ	10	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内眼	2	常勤
170052	医)春光会	宮崎市	外内	3	常勤
180061	医)あいクリニック	宮崎市	精	1	非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内神内整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内	3	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	整内外	7	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化外総内麻放精整, 循	5	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内外救急化療リハ	6	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	内外放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内リハ	5	常勤・非常勤
220126	八代医院	宮崎市	内	1	非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	内	1	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国富町	内外	2	常勤
230140	医)将優会 クリニックうしたに	宮崎市	外内整家庭医総合臨床	1	常勤
240141	医)博愛社 佐土原病院	宮崎市	内	1	非常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都城市	内泌	2	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内老内	2	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内救急放射脳外外, 総合	8	常勤
170042	医)豊栄会 豊栄クリニック	都城市	内老内精	3	常勤
170056	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	循内脳外呼神内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内外整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都城市	消内血内循内脳産婦, 耳鼻	9	常勤
180069	社)八日会 大悟病院	三股町	精内	2	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内呼	4	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
190093	社)八日会 藤元早鈴病院検診センター	都 城 市	内	2	常勤・非常勤
210108	特医)漱和会 みまた病院	三 股 町	内,消内,循皮,整婦小, 呼,放	10	常勤
210113	医)邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社)八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外,内,麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230135	医)廣師会 信愛医院	都 城 市	内	1	常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
240142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハビリ	2	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整外,皮,放,内,肝外	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	2	常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外,消内,緩ケア	4	常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内,外,麻,精,神,内,脳,神,経, 老,施,心,内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小,外,整	8	常勤・非常勤
210112	医)嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,内,整,透	7	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230130	医)フボール向洋	日 向 市	内	1	常勤
230131	医)向洋会 協和病院	日 向 市	内	1	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,小	4	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整,内,心,内,眼,健診,循,脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼,循,消,内,外	8	常勤
180077	医)聖山会 川南病院	川 南 町	眼,麻,脳	10	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外,整	6	常勤・非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内,消内,神内	3	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,神内,整,外	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	腎内	1	常勤
220124	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
230129	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	1	常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	内,循呼,血内,健診,放,小	11	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外,内,整	4	常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	2	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内	4	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,神内,循内	3	常勤・非常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,整	2	非常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 24年 11月 15日現在

1. 譲渡物件	宮崎市阿波ヶ原町前田 2633番, 2634番 土地のみ：593.57坪( 2022.17㎡)
2. 賃貸物件	宮崎市曾師町 209-3( 旧 田川内科医院跡地 ) 建物：鉄筋コンクリート造 2 階建 1 階 183.35㎡， 2 階 166.69㎡ 駐車場：10台分
	延岡市大門町 188-1( 旧 白坂内科医院跡地 ) 建物：鉄筋造平屋建 205㎡ 駐車場：10台分

## ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前9時から12時及び13時から17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10番地( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m iyazakim ed.or.jp

### 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24年 11月 29日現在

12			月		
1	土	13 00 (日医)家族計画・母体保護法指導者講習会	14	金	18 30 指導医のための教育ワークショップ 事前打合せ
2	日		15	土	9 00 指導医のための教育ワークショップ ↑↑
3	月	19 00 医学賞選考委員会	16	日	8 00 指導医のための教育ワークショップ 14 00 女性医師支援センター事業 社 九州ブロック会議 国
4	火	18 00 医協打合せ	17	月	19 00 広報委員会 保
		18 30 第10回全理事協議会			14 00 (日医)日医理事会 審
		19 20 各都市医師連盟委員長会・県医師連盟常任執行委員会合同会議			18 00 治験審査委員会 査
		終了後 各都市医師会長協議会	18	火	19 00 第24回常任理事協議会 査
5	水	18 00 県健康づくり推進協議会	19	水	9 10 全体課長会(事務局)
		19 00 都城市北諸県郡医師会忘年会			15 00 労災診療指導委員会 ↓↓
		19 00 延岡市医師会忘年会			
6	木	19 00 県警察医会協議会	20	木	14 00 県がん診療連携協議会
		19 00 広報委員会			14 30 (日医)日医公衆衛生委員会
7	金	14 30 九州地方社会保険医療協議会総会			
8	土	15 00 生活習慣病検診従事者研修会	21	金	14 00 (日医)国民医療を守るための総決起大会
		18 00 県産婦人科医会全理事会			15 00 九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会実行委員会(事務局)
		18 30 宮崎市郡医師会年末懇談会			
9	日	12 30 全国有床診療所連絡協議会役員会	22	土	14 00 (日医)日医医療基本法(仮称)制定に関するシンポジウム
		14 00 (日医)「有床診療所の日」記念講演会			
10	月				
11	火	18 00 医協理事会	23	日	(天皇誕生日)
		18 30 第11回全理事協議会	24	月	(振替休日)
		終了後 医協理事・運営委員合同協議会	25	火	19 00 第25回常任理事協議会
		19 00 役職員懇談会・九医学反省会			
12	水	16 00 支払基金幹事会	26	水	18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
		19 00 県内科医会医療保険委員会			
13	木	13 30 (日医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会	27	木	18 00 県がん対策推進協議会(会長)
		14 00 社会保険医療担当者(医科)の個別指導	28	金	
		19 00 西都市・西児湯医師会忘年会	29	土	(年末休業)
			30	日	(年末休業)
			31	月	(年末休業)

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24年 11月 29日現在

1		月			
1	火	(年始休業)	17 木	19 00 県内科医会学術委員会 19 30 広報委員会	
2	水	(年始休業)			
3	木	(年始休業)	18 金	13 30 宮大経営協議会・学長選考会議	↑
4	金		19 土	15 00 県産婦人科医会冬期定時総会	↑ 国
5	土	19 00 三師会合同新春懇談会	20 日	10 00 (日医)医療事故防止研修会	↑ 社 保
6	日		21 月		保 審
7	月		22 火	19 00 第 27回常任理事協議会	審 査
8	火	18 30 第 12回全理事協議会 19 20 県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会	23 水		査 ↓
9	水	16 00 支払基金幹事会 18 30 病院部会・医療法人部会合同理事会	24 木	19 00 広報委員会 19 00 産業医研修会	
10	木	13 30 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 19 30 県産婦人科医会常任理事会	25 金	13 00 治験ネットワークフォーラム 18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
11	金	14 00 (日医)日医地域医療対策委員会	26 土	14 00 次期診療報酬改定の要望事項に係る医療保険対策協議会 16 00 九医連常任委員会 16 00 九医連各種協議会	
12	土	14 30 産業医研修会			
13	日				
14	月	(成人の日)	27 日	8 28 九医連親善ゴルフ大会 9 00 九州各県医師会医療情報システム担当理事連絡協議会 9 30 県医緩和ケアチーム研修会	
15	火	14 20 (日医)都道府県医師会会長協議会 16 30 (日医)日医連執行委員会 17 30 (日医)都道府県医師会会長協議会・日医連執行委員会合同新年会 18 00 治験審査委員会 19 00 第 26回常任理事協議会	28 月		
16	水	9 10 全体課長会(事務局)	29 火	19 00 第 28回常任理事協議会	
			30 水	15 00 労災診療指導委員会 19 00 県内科医会誌編集委員会	
			31 木		

都合により、変更になることがあります。

所得補償保険のご案内

24年 6月まで掲載

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位・カリキュラムコード（CC）。当日，参加証を交付。  
 がん検診；各種がん検診登録・指定・更新による研修会。波線；専門研修会以外の産業医研修会。  
 アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 68 回宮崎県精神 科医会懇話会 ( 1.5 単位 ) ( CC 10,13,14 )	12 月 1 日 ( 土 ) 17 30 ~ 19 00 宮崎観光ホテル	精神医療の将来ビジョン 地域移行推進 とともに改善すべき医療課題 新潟大学精神医学教授 染矢 俊幸	共催 宮崎県精神科医会 ☎ 0982-37-0126 大日本住友製薬(株)
第 76 回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 ( 1.5 単位 ) ( CC 1 , 9 , 15 )	12 月 5 日 ( 水 ) 19 00 ~ 20 30 宮崎観光ホテル	致死性不整脈に対するトータル治療 筑波大学医学医療系循環器内科 教授 青沼 和隆	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 日本メドトロニック(株)
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 ( 2 単位 ) ( CC 28,45,46,79 )	12 月 5 日 ( 水 ) 19 00 ~ ガーデンベルズ 小林	呼吸器感染症におけるマクロライドの 役割 九州保健福祉大学薬学部 臨床生化学教授 佐藤 圭創	主催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会 共催 大正富山医薬品(株)
第 30 回国立病院機 構宮崎病院医療セ ミナー ( 1 単位 ) ( CC 7 , 72 )	12 月 6 日 ( 木 ) 19 00 ~ 20 00 ブライダルホール 竹乃屋	元気な子どもが育つ街づくり：医療，行 政，教育の連携による感染症予防，アレ ルギー対策，軽度発達障がい児支援 大分大学医学部地域医療・ 小児科分野担当教授 是松 聖悟	主催 国立病院機構宮崎病院 後援 児湯医師会 ☎ 0983-22-1641 児湯内科医会

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
延岡医学会学術講演会 (1.5単位) (CC 11,12,73)	12月7日(金) 18:45~20:30 ホテルメリージュ 延岡	C型肝炎の症例に対するPEG-IFN(投与方法の工夫)について 丸山クリニック肝臓内科 岩満 章浩 B型肝炎の最近の話題 宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学講師 蓮池 悟	共催 延岡医学会 中外製薬(株) ☎0985-20-8118 後援 延岡内科医会
宮崎県医師会産業医研修会(基礎研修の後期研修会・生涯研修の専門研修会1.5単位) (1.5単位) (CC 6,69,70)	12月8日(土) 14:00~15:30 宮崎市郡医師会館	(4)メンタルヘルス対策 働く人の中のうつ病と対応 中村クリニック院長 中村 究	主催 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
平成24年度宮崎県医師会生活習慣病検診従事者研修会 がん検診(肺・乳・胃・大腸) (2単位) (CC 2,11,12,82)	12月8日(土) 15:00~17:10 県医師会館TV会議 都城・延岡・日向・ 児湯・西都・西諸)	非小細胞肺癌の外科治療と術後化学療法 宮崎大学医学部循環呼吸・ 総合外科学助教 富田 雅樹 乳がん診療における早期発見の重要性について 藤元早鈴病院乳腺診療センター 乳腺科 玉田 修吾 早期胃癌に対する内視鏡診断 宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学助教 安部 弘生 大腸がん治療ガイドラインについて 古賀総合病院内科医長 高平 尚弘	主催 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(基礎研 修の後期研修会, 生涯研修の更新研 修会 1.5単位) (1.5単位) (cc 3,7,9)	12月 8 日(土) 15 30~ 17 00 宮崎市郡医師会館	(1)総論 (1)労働衛生関係法規と関係通達の改正 労働安全衛生法令と労働安全衛生の現状 について 宮崎労働基準監督署安全衛生課長 松澤 良	主催 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434
第 15回宮崎県眼科 医会講習会 (3単位) (cc 36)	12月 8 日(土) 16 00~ 19 00 宮崎観光ホテル 3,000円 (開業医・勤務医) 2,000円 (公的医療機関勤務 医)	Vogt-小柳・原田病の診断と治療 鹿児島大学眼科学准教授 中尾 久美子 平成 24年度健保担当理事連絡会の報告 宮崎県眼科医会理事 出水 誠二 標準化医療から個別化医療への転換 - 加齢黄斑変性治療の現場から - 神戸大学眼科学講師 本田 茂	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015 共催 ナバルティスファーマ㈱
第 6 回はまゆう整 形外科セミナー (1単位) (cc 2,72)	12月 8 日(土) 17 30~ 18 30 宮崎観光ホテル	整形外科医のための漢方医学(基礎) 宮崎大学医学部整形外科助教 濱田 浩朗 小児整形外科治療について 宮崎県立こども療育センター 所長 柳園 賜一郎	主催 はまゆう整形外科セミナー (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
宮崎市郡外科医会 12月例会 (1単位) (cc 8,9)	12月 10日(月) 19 10~ 20 10 宮崎観光ホテル	医療による低線量被曝とリスクマネージ メント 宮崎大学医学部放射線医学教授 田村 正三	主催 宮崎市郡外科医会 ☎ 0985-53-3434

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 17回宮崎県泌尿器科医会 ( 2 単位 ) ( CC 9 , 65, 66, 84)	12月 13日(木) 19 00~ 21 00 宮崎観光ホテル	PSA 高値のBPH に対する対応 宮崎大学医学部泌尿器科学教授 賀本 敏行	主催 宮崎県泌尿器科医会 ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部泌尿器科 ☎ 0985-85-2968
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 ( 1.5単位 ) ( CC 29, 73, 76)	12月 13日(木) 19 00~ 20 45 グランドパティオ 都城	糖尿病合併症としての認知症 東京都健康長寿医療センター糖尿病・代謝・内分泌内科内科総括部長 荒木 厚	主催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 共催 武田薬品工業(株)
第 6 回脂質異常症と動脈硬化の治療を考える会 ( 1.5単位 ) ( CC 23, 73, 75)	12月 13日(木) 19 15~ 21 00 ホテルJALシティ 宮崎	Endo-PAT 2000を用いた血管内皮機能の評価 宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学 山下 英一郎 脂質異常症診療の最近の進歩 東北大学循環器内科学教授 下川 宏明	共催 脂質異常症と動脈硬化の治療を考える会 MSD(株) バイエル薬品(株) ☎ 090-5258-5203
平成 24年度第 1 回 3 施設合同認知症疾患医療センター研修会 ( 1 単位 ) ( CC 29)	12月 15日(土) 14 00~ 17 00 門川町総合文化会館	人それぞれの認知症 大悟病院認知症疾患医療センター長 三山 吉夫	主催 大悟病院 野崎病院 協和病院 ☎ 0982-54-2806 共催 宮崎県認知症ケア専門士会 大分県認知症ケア専門士会 後援 日本認知症ケア学会
M RSA 感染症学術講演会 ( 2 単位 ) ( CC 10, 11, 58, 73)	12月 15日(土) 16 00~ 18 00 ホテルJALシティ 宮崎	薬剤耐性菌の治療と感染対策 埼玉医科大学感染症科・感染制御科教授 前崎 繁文	共催 宮崎市郡医師会 MSD(株) ☎ 080-2406-9726 後援 宮崎県医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県病院薬剤師会

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 65 回宮崎整形外 科懇話会 ( 1 単位 ) ( CC 57,77)	12 月 22 日(土) 18 00~ 19 00 県医師会館 1,000 円	高齢者の大腿骨近位部骨折の新分類と 治療の注意点 公立玉名中央病院長・企業長 中野 哲雄	主催 宮崎整形外科懇話会 共催 宮崎県整形外科医会 大日本住友製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
宮崎県医師会産業 医研修会(基礎研 修の後期研修会, 生涯研修の専門研 修会 4 単位 ) ( 4 単位 ) ( CC 3 ,5 ,9 , 10,11,12,19,84)	平成 25 年 1 月 12 日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館 TV 会議 都城・延岡・日向・ 児湯・西都・南那珂・ 西諸)	(3)健康管理 健康管理について(仮) 長崎大学公衆衛生学教授 青柳 潔 (8)有害業務管理 環境中毒について(仮) 産業医科大学産業生態学研究所 教授 上野 晋	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎木曜会学術講 演会 ( 1 単位 ) ( CC 53,54)	1 月 17 日(木) 19 00~ 20 00 宮崎観光ホテル 500 円	潰瘍性大腸炎の治療 - 過去・現在,そして未来へ - 宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学助教 山本 章二郎	共催 宮崎木曜会 大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855
第 7 回宮崎大学眼 科研究会 ( 3 単位 ) ( CC 36)	1 月 19 日(土) 15 00~ 19 00 宮崎観光ホテル 2,000 円	緑内障点眼薬の違いを検証する(仮) たじみ岩瀬眼科院長 岩瀬 愛子 OCT で診断できないもの(仮) 三重大学眼科学教授 近藤 峰生	主催 宮崎大学医学部眼科学教室 ☎ 0985-85-2806
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研 修の専門研修会 2 単位 ) ( 2 単位 ) ( CC 3 ,8 ,11,84)	1 月 24 日(木) 19 00~ 21 00 県医師会館 TV 会議 都城・延岡・日向・ 児湯・西都・南那珂・ 西諸)	(1)総論 産業保健における疫学 宮崎大学医学部公衆衛生学教授 黒田 嘉紀	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

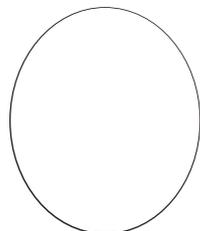
名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
西臼杵郡医師会 学術講演会 ( 1.5単位 ) (cc 13,76,82)	1月 29日(火) 19 00~ ホテル高千穂	糖尿病治療 - 最近の変化 - 平和台病院名誉院長 中村 周治	共催 西臼杵郡医師会 延岡市西臼杵郡薬剤師会 武田薬品工業(株) (連絡先) 佐藤医院 ☎ 0982-73-2010
第 48回宮崎県スポーツ学会 ( 1 単位 ) (cc 61,62)	2月 2日(土) 15 00~ 19 00 宮崎大学医学部附属 病院 1,000円	足関節・足部のスポーツ傷害 - 関節鏡視下手術例を中心に - 奈良県立奈良病院副院長 杉本 和也	共催 宮崎県スポーツ学会 久光製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研 修の専門研修会 2 単位 ) (cc 9 ,10,69,70)	2月 7日(木) 19 00~ 21 00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 セルフ&ラインケア - 交流分析からみる人間関係 - 都城新生病院 前原 正法	共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

## 日本医師会生涯教育カリキュラム ( 2009 )

カリキュラムコード(略称 cc)

1 専門職としての使命感	29 認知能の障害	57 外傷
2 継続的な学習と臨床能力の保持	30 頭痛	58 褥瘡
3 公平・公正な医療	31 めまい	59 背部痛
4 医療倫理	32 意識障害	60 腰痛
5 医師・患者関係とコミュニケーション	33 失神	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療制度と法律	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 保健活動	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 地域医療	41 嘔声	69 不安
14 医療と福祉の連携	42 胸痛	70 気分の障害(うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便通異常(下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	84 その他

## 診療メモ



## 子どもの予防接種の話

たかやま小児科 高 山 修 二

予防接種後進国という言葉が返すべく？ 予防接種が大きく変化し続けています。我々小児科医ですら、その変化について行くのが大変な状況なので、他科の先生方にとってはまさに『そんな話初めて聞いた』ということも多いのではないのでしょうか。そこでここ数年の変化をみると、以下の 6 つにまとめることができます。

- 1) 予防接種の種類が増加。
- 2) 臨時接種の導入(ヒブ, 小児用肺炎球菌, HPV ワクチン)。
- 3) 日本脳炎ワクチンに対する経過措置 (平成 7 年 6 月 1 日～ 19 年 4 月 1 日生まれで予防接種が終了していない場合, 生後 6 か月以上 20 歳未満の間, 経過措置として予防接種可能)。
- 4) 接種開始年齢の早期化(ロタウイルスワクチンは生後 6 週から, ヒブ, 小児用肺炎球菌ワクチンは生後 2 か月から接種可能)。
- 5) 同時接種の必要性。
- 6) 皮下接種の候補場所として, 大腿前外側部が予防接種ガイドラインに今年初登場。

現在日本の子どもが接種できるワクチンを表 1 に示しました。この中で最近導入されたワクチンはヒブ, 小児用肺炎球菌, HPV, ロタウイルス, 不活化ポリオ, そして 11 月からの四種混合ワクチン(三種

混合 + 不活化ポリオワクチン)です。14 の予防接種のうち定期接種になっているのはわずか 6 つのみです。このうち臨時接種で現在公費対象になっているヒブ, 小児用肺炎球菌と HPV ワクチンは定期接種化への動きがありますが, まだ確定していません。予防接種部会は他に水痘, おたふくかぜ, B 型肝炎ワクチンも定期接種化すべきとしていますが, これらの定期接種化は遅れそうです。

さて, 1 歳までに接種してほしいワクチンに

表 1 日本の子どもが接種するおもなワクチンとワクチンで防げる病気

ワクチン	ワクチンで防げる病気
三種混合ワクチン	ジフテリア・百日咳・破傷風
不活化ポリオワクチン	ポリオ(小児まひ)
四種混合ワクチン	ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ
BCG ワクチン	結核
MR ワクチン	麻疹, 風しん
日本脳炎ワクチン	日本脳炎
ヒブワクチン	Hib 感染症(細菌性髄膜炎など)
小児用肺炎球菌ワクチン	肺炎球菌感染症(細菌性髄膜炎, 肺炎, 中耳炎など)
水痘ワクチン	水痘(みずぼうそう)
おたふくかぜワクチン	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
B 型肝炎ワクチン	B 型肝炎
HPV ワクチン(2 種類)	子宮頸がん
ロタウイルスワクチン(2 種類)	ロタウイルス感染症
インフルエンザワクチン	インフルエンザ

は、ロタウイルス、ヒブ、小児用肺炎球菌、三種混合と不活化ポリオ(四種混合)、BCG ワクチンがあります。BCG ワクチンは1回接種ですが生ワクチンで、ロタウイルスワクチンは2～3回服用する生ワクチン、残りはいずれも1歳までに3回接種する不活化ワクチンです。これらを早期にかつ効率よく免疫を獲得しようとする、同時接種は避けて通れません。というのもロタウイルスワクチンのロタリックスは生後6週～生後24週までに2回、ロタテックは生後32週までに3回目の経口接種を完了する必要がありますし、髄膜炎の予防が主眼のヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンは生後2か月から開始してできるだけ早期に3回接種することが髄膜炎の減少に寄与します。これらに加え三種混合ワクチンや不活化ポリオワクチン(四種混合ワクチン)、BCGが生後3か月から始まります。BCGは原則生後6か月迄に終えることとなっています(現在、接種時期の変更が検討されています)。文章で読むとかなりわかりにくいと思いますが、同時接種を積極的に活用すると(表2参照)通院回数4回、生後4か月時点で1歳までに必要な予防接種が完了することになります。単独接種のスケジュールでは、 の後は1週ずつ、 の後は4

週間ずらすスケジュールになります。通院回数だけで3倍強、途中病気などでスケジュールの変更がおきない前提で8か月もかかります。また、副作用としての発熱は、同時接種と単独接種とで同等ということもわかっています。今後同時接種が増えてくるとともに、接種部位についても諸外国で一般的な大腿前外側部が使われるケースが増えてくると思われます。

今後の課題としては

- 1) 現在任意接種になっている予防接種の定期接種化
- 2) 日本独自の接種間隔の見直し
- 3) 地域格差の解消(自己負担割合の違い)があげられます。

最後に、「これからの予防接種は『ワクチンデビューは生後2か月の誕生日、同時接種で早期に確実に予防』が合い言葉！」を予防接種に携わるドクターの共通認識にしたいと思います。

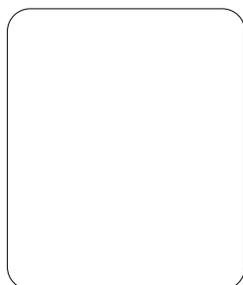
*最新の予防接種情報を得るのに最適なサイトとして「V.P.D(ワクチンで防げる病気)を知って、子どもを守ろうの会」のホームページ(<http://www.know-vpd.jp/index.php>)をお勧めします。

表 2 同時接種を積極的に活用した予防接種スケジュール

	接種回数	2か月				3か月				4か月			
		1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週	1週	2週	3週	4週
ヒブ	3												
肺炎球菌	3												
三種混合	3												
不活化ポリオ	3												
BCG	1												
ロタ(ロタリックス)	2												
(ロタテック)	3												

(不活化ワクチン) (生ワクチン)

## 私 の 本



## 歌 集 『 カ ル テ 棚 』

宮崎市 長嶺内科クリニック

なが みね もと ひさ  
長 嶺 元 久

発行所 な が ら み 書 房

定 価 2 , 6 0 0 円 + 税

私は平成 15 年の初めから、短歌を詠み始めました。平成 23 年に還暦という節目を迎えたことを契機に、「心の花」「梁」「大塚薬報」「宮崎日日新聞」などに掲載された 45 首をまとめて、このたび歌集にしました。歌は診療を題材にしたものが多く、他に家族、風土なども詠んで来ました。時代が遷りゆく中で、真に価値のあるものを表現したいという思いがあります。自選歌 5 首を以下に挙げます。

診療のはじめに交はす「こんにちは」そこに病む人の塩梅を知る  
「わたくしを診た医者はみな死にました」宣らす翁を畏みて診る  
カルテ棚逝きたる人と生ける者薄きボードに仕切られてをり  
チラーヂン S を造れる工場の稼働止みたり震災の後に  
妻といふ地に生まれたり山越えて肥後に隈府わいふといふ地名あり  
歌集の題『カルテ棚』は、3 首目の歌に拠りました。

ご一読いただければ、幸甚に存じます。

バッジ

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。また、MMA 通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時ご案内しておりますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

会員専用ページへのアクセス方法

宮崎県医師会 (<http://www.miyazaki.med.or.jp/>) にアクセス

県医師会ホームページ右下の「会員専用ページ」をクリック

ユーザー名 医籍登録番号を入力

パスワード 生年月日(西暦の下二桁と月日)を入力(初期設定)

例) 1950年 11月 2日生まれの場合, 501102

MMA 通信への登録をご希望の方は、県医師会地域医療課までご連絡ください

(TEL 0985-22-5118)。

送付日	文 書 名
10月 24日	・日本脳炎の定期の予防接種の実施について
10月 26日	・チグサイクリン製剤の使用にあたっての留意事項について ・メサドン塩酸塩製剤の使用にあたっての留意事項について ・新医薬品の再審査結果平成 24年度(その 2)について ・医療機関のホームページの内容の適切なあり方に関する指針(医療機関ホームページガイドライン)について
10月 29日	・「チーム医療推進実証事業報告書」の取りまとめについて(通知) ・宮崎県地域がん登録事業説明会について(依頼)
10月 30日	・医薬品・医療機器等安全性情報第 295号の速報について ・在宅患者訪問薬剤管理指導料と居宅療養管理指導費の給付調整に係る留意事項について ・使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について
10月 31日	・「定期の予防接種の実施について」の一部改正について
11月 5日	・厚生労働省「チーム医療実証事業報告書」について ・日本脳炎に関する小委員会における検討結果について ・平成 24年の医師の届出及び調査について(依頼)
11月 7日	・石綿による疾病の労災認定のパンフレットの送付について

送付日	文 書 名
11月 9日	・平成 25年度以降に実施される特定健康診査等におけるヘモグロビン A _{1c} 検査結果の受診者への結果通知，保険者への結果報告及び国への実績報告について
11月 12日	・「使用上の注意」の改訂について ・医薬品の効能・効果の変更に伴う「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成 23年度年報」及び「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第 7 回集計報告」の周知について
11月 13日	・病院又は医師が常時 3 人以上勤務する診療所の専属薬剤師の設置義務について ・平成 24年度認知症疾患医療センター研修会の実施に関する周知について(依頼)
11月 14日	・4 種混合ワクチンの供給量について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について
11月 15日	・医療施設における今冬の電力需給対策について
11月 16日	・受動喫煙防止対策の徹底について
11月 19日	・法務省共済組合員証の無効について(通知) ・今冬のインフルエンザ総合対策の推進について ・感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルスの予防啓発について ・「予防接種ガイドライン 2012年度版」，「予防接種と子どもの健康 2012年度版」の改訂について
11月 20日	・平成 25年度以降に実施される特定健康診査・特定保健指導における特定保健指導レベル判定値，受診勧奨判定値，及びメタボリックシンドローム判定値等の取扱いについて ・年末及び年度末に向けた自殺対策の一層の推進について

-----  
あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d	c	c	a	c	c	d	d	b, c	a

## 平成 24 年 総目次 ( 749~ 760)

## 【表 紙】

初詣で	宮 崎 市	竹 尾 康 男	1 月号
水色の刻	新 富 町	丸 田 英 夫	2 月号
浅みどり はつしほそむる春雨に	延 岡 市	日 高 芳 則	3 月号
タンポポと蜂	宮 崎 市	田 崎 高 伸	4 月号
わが家の野菜	宮 崎 市	押 川 千 賀 子	5 月号
大地	宮 崎 市	烏 野 未 留 子	6 月号
妖精のすむ森	宮 崎 市	竹 村 龍 之 助	7 月号
大淀川 花火大会	宮 崎 市	井ノ口 信 子	8 月号
パイナップル	宮 崎 市	石 川 万 佐 子	9 月号
エンゼルトランペット	延 岡 市	長 沼 恭 子	10 月号
静物	宮 崎 市	黒 川 基 樹	11 月号
寒月	延 岡 市	長 沼 弘 三 郎	12 月号

## 【会長のページ】

年頭のご挨拶	会 長	稲 倉 正 孝	1 月号
日本の医療を守る総決起宮崎大会			2 月号
医神祭について			3 月号
公益社団法人への移行にあたって			4 月号
平成 24 年度事業計画			5 月号
日本医師連盟について(提案)			6 月号
計画停電について			7 月号
有床診療所の役割			8 月号
サウンド・バイト(sound bite)			9 月号
宮崎県地域総合医育成サテライトセンターの開設			10 月号
宮崎大学医学部附属病院救命救急センター逆搬送体制構築への協力をお願い			11 月号
第 11 回九州医師会総会・医学会を顧みて			12 月号

## 【日州医談】

有床診療所をめぐる状況について	副 会 長	河 野 雅 行	2 月号
県内 2 次医療圏毎の人口推移	副 会 長	富 田 雄 二	3 月号
24 年度診療報酬改定について	副 会 長	河 野 雅 行	6 月号
「地域がん登録」開始について	副 会 長	富 田 雄 二	7 月号
医師会立看護専門学校の問題について	常 任 理 事	立 元 祐 保	8 月号
小児救急医療を考える	常 任 理 事	佐 藤 雄 一	9 月号
宮崎県医師会電子カルテに関するアンケート結果	常 任 理 事	荒 木 早 苗	9 月号
「新・自殺総合対策大綱」について	常 任 理 事	吉 田 建 世	10 月号
医療事故死と医師法第 2 条	常 任 理 事	濱 田 政 雄	11 月号
次期宮崎県医療計画について - 県医師会の対応 -	常 任 理 事	古 賀 和 美	12 月号

## 【挨拶】

年頭所感	日本医師会長	原 中 勝 征	1 月号
年頭所感	顧問	竹 内 三 郎	1 月号
年頭所感	宮崎市郡医師会長	中 村 典 生	1 月号

年頭所感	都城市北諸県郡医師会長	夏 田 康 則	1月号
年頭所感	延岡市医師会長	牧 野 剛 緒	1月号
年頭所感	日向市東臼杵郡医師会長	渡 邊 康 久	1月号
年頭所感	児湯医師会長	永 友 和 之	1月号
年頭所感	西都市・西児湯医師会長	児 玉 健 二	1月号
年頭所感	南那珂医師会長	山 元 敏 嗣	1月号
年頭所感	西諸医師会長	榎 健一郎	1月号
年頭所感	西臼杵郡医師会長	佐 藤 元二郎	1月号
年頭所感	宮崎大学医学部医師会長	池ノ上 克	1月号
年頭所感	内科医会長	栗 林 忠 信	1月号
年頭所感	小児科医会長	佐 藤 雄 一	1月号
年頭所感	外科医会長	田 中 俊 正	1月号
年頭所感	整形外科医会長	田 島 直 也	1月号
年頭所感	皮膚科医会長	成 田 博 実	1月号
年頭所感	泌尿器科医会長	中 山 健	1月号
年頭所感	産婦人科医会長	濱 田 政 雄	1月号
年頭所感	眼科医会長	柴 田 博	1月号
年頭所感	耳鼻咽喉科医会長	井 手 稔	1月号
年頭所感	精神科医会長	吉 田 建 世	1月号
年頭所感	放射線科医会長	田 村 正 三	1月号
年頭所感	東洋医会長	川 越 宏 文	1月号
年頭所感	透析医会長	藤 元 昭 一	1月号
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河 野 俊 嗣	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員( 1 区 )	川 村 秀三郎	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員( 2 区 )	江 藤 拓	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員( 3 区 )	古 川 禎 久	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員(九州ブロック)	道 休 誠一郎	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	松 下 新 平	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	外 山 斎	1月号
年頭のご挨拶	県議会議員	清 山 知 憲	1月号
<b>【随想・随筆】</b>			
救急車に乗る	宮 崎 市	谷 口 二 郎	5月号
アラクノハンティング	日 南 市	北 村 和 生	9月号
院内でリラクゼーション	宮 崎 市	谷 口 二 郎	10月号
医療とコミュニケーション	宮 崎 市	森 憲 正	10月号
高村智恵子をめぐって	西 都 市	友 成 久 雄	11月号
次女の国際結婚	宮 崎 市	田 崎 高 伸	12月号
<b>【寄 稿】</b>			
「あはき」(あん摩・マッサージ・指圧, 鍼, 灸)と柔道整復における「療養費」の問題点	宮崎市郡医師会理事	尾 田 朋 樹	8月号
宮崎市郡医師会病院心臓病センターとモービルCCU	宮崎市郡医師会病院 病院長	川 名 隆 司	10月号
<b>【新春随想・俳壇・歌壇】</b>			
ギルドの世界	宮 崎 市	渡 邊 克 司	1月号
谷間, 谷間の雪も消え	延 岡 市	宝珠山 弘	1月号

後期高齢者2年生	宮崎市	立山浩道	1月号
GPS	小林市	園田泰三	1月号
片付けパニック	宮崎市	谷口二郎	1月号
日本医療機能評価を受審して	都城市	柳田浩子	1月号
そんなに先のことは...	都城市	横山陽二	1月号
新年雑感	小林市	桑原淑子	1月号
特定健診の一日	延岡市	藤本孝一	1月号
腕時計	高鍋町	坂田師隣	1月号
フライティングの話	延岡市	山尾裕道	1月号
正當にこわがりました	宮崎市	高宮眞樹	1月号
CTは役立つ	宮崎市	田村正三	1月号
ツイッター事始め	宮崎市	山村善教	1月号
遺暦とは?	延岡市	大地哲史	1月号
地震・雷・火事...	延岡市	宮本義明	1月号
歌の好みについての私見	都城市	志々目栄一	1月号
迎春に想ふ	宮崎市	猪野高明	1月号
住み易さランキングに思う	宮崎市	恒吉勇男	2月号
複製画を楽しむ	西都市	友成久雄	2月号
新春によせて 政治家の英会話力と国力	宮崎市	小池弘幸	2月号
今年の抱負, 目標, 希望	宮崎市	木下浩	2月号
エジプト旅行記	延岡市	甲斐原司	2月号
浅き夢見じ	三股町	小牧文雄	2月号
私の趣味	宮崎市	外山勝浩	2月号
Smart Medicineの提唱	日南市	河野清秀	2月号
薪ストーブ	宮崎市	福嶋秀一郎	2月号
最近ハマっていること	宮崎市	黒木龍二	2月号
山座同定	延岡市	長沼弘三郎	2月号
今の自分へ導いてくれたもの	宮崎市	宮永省三	2月号
下北半島から日向へ	宮崎市	山本良高	2月号
河内實世先生	宮崎市	林透	2月号
新春随想	宮崎市	丸山治彦	2月号
笑うことが好きです	串間市	野田隆	2月号
ヘボン先生ありがとう	日南市	峰松俊夫	2月号
【はまゆう随筆・短歌・俳句】			
ピアノの楽しみ方	宮崎市	谷口二郎	7月号
久しぶりの丸山に未来の医師像をみた	宮崎市	中馬秀樹	7月号
もったいない	宮崎市	杉田幸雄	7月号
バイオリンとの出会い	都城市	吉山賢一	7月号
スポーツ大好き, オリンピック大好き	都城市	野田俊一	7月号
ミケランジェロのダヴィデ像の性器はなぜ完全包茎か?	日向市	鎗水史朗	7月号
宮銀女子陸上部創設に期待する	宮崎市	田島直也	7月号
80歳を迎えて	宮崎市	澤田惇	7月号
昔の人は言いました	延岡市	宝珠山弘	7月号
青春回想	延岡市	藤本孝一	7月号
自句自解	宮崎市	石川誠一	7月号

Fango療法と「アバノの再会」	高鍋町	坂田	師通	7月号
シャーロック・ホームズの推理	延岡市	野村	朝清	7月号
仲夏の花	日南市	佛坂	朱美	7月号
六峰街道に遊ぶ	宮崎市	弓削	達雄	8月号
イタリア旅行とアランの「幸福論」	宮崎市	田尻	明彦	8月号
多病高齢化時代、医療現場の正確な電子カルテ記述で「ビッグデータ」を生かし、 医療ロジステックスを世に問う！！	日南市	河野	清秀	8月号
同窓の絆に感謝～島根大学医学部(島根医科大学)出身者の会「だんだんの会」について	宮崎市	中島	紫織	8月号
珍生物辞典	串間市	野田	隆	8月号
フルマラソン挑戦	宮崎市	風間	成泰	8月号
あるお母さん	宮崎市	山崎	俊輔	8月号
Dr M の物語	宮崎市	南嶋	洋一	8月号
夢一夜	延岡市	長沼	弘三郎	8月号
田舎の一人医師分娩取り扱い施設	高鍋町	河野	通久	8月号
日露戦争で日本の敗戦を救いたる歴史の表に出ていないもう一人の人物	宮崎市	古賀	繁喜	8月号
おいしかったお酒	宮崎市	松本	宏一	8月号
【エコー・リレー】				
26年目に想う	宮崎市	日高	博之	1月号
日本人で感謝	延岡市	平田	耕太郎	1月号
高千穂峡の柱状節理	串間市	新名	洋美	2月号
年寄りと子供は...	都城市	夏田	康則	2月号
思いがけないAED経験	宮崎市	津曲	孝康	3月号
寅さんと家族、絆	小林市	高崎	直哉	3月号
私の最近のゴルフ事情	宮崎市	坂本	康典	4月号
愛犬ジルの3年間の戦い	高鍋町	黒木	康博	4月号
最近がんばってること	宮崎市	本部	浩一	5月号
感動甲子園の土と石	宮崎市	黒木	康雅	5月号
快適自転車生活	宮崎市	後藤	啓輔	6月号
黄金バット	高鍋町	栗田	正弘	6月号
見えないもの	宮崎市	牧元	宏	7月号
つや	都城市	駒田	直人	7月号
趣味としてのギャンブル	宮崎市	岩本	秀安	8月号
新天地にて思うこと	延岡市	岩満	章浩	8月号
夏の日	三股町	三嶋	和也	9月号
10年	宮崎市	大安	剛裕	9月号
宮医大剣道部	西都市	濱砂	亮一	10月号
地域医療への思い	西都市	大塚	康二朗	10月号
宮古島への思い	小林市	池田	徳郎	11月号
リターンライダーになってみて	都城市	伊木	秀郎	11月号
気分転換	高鍋町	山口	真太朗	12月号
自己紹介	都城市	山内	明	12月号

## 【叙位・叙勲】

旭日双光章	宮崎市郡医師会	志 多 武 彦	3月号
瑞宝双光章	宮崎市郡医師会	山 下 盛 尚	3月号
瑞宝中綬章	宮崎大学医学部医師会	澤 田 惇	3月号

## 【表彰・祝賀】

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	宮崎市郡医師会	増 田 好 治	1月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	都城市北諸県郡医師会	出 水 善 文	1月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	都城市北諸県郡医師会	海 田 紀 夫	1月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	都城市北諸県郡医師会	西 平 英 智	1月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	延岡市医師会	赤 須 健次郎	1月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	延岡市医師会	野 村 敏 彰	1月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	延岡市医師会	又 木 平八郎	1月号
学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰	南那珂医師会	赤 池 義 昭	1月号
救急医療事業功労者県知事表彰	宮崎市郡医師会	迫 田 耕一朗	1月号
救急医療事業功労者県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	瀬ノ口 頼 久	1月号
救急医療事業功労者県知事表彰	延岡市医師会	赤 須 健次郎	1月号
救急医療功労者厚生労働大臣表彰	南那珂医師会	百 瀬 寿 之	1月号
日本医師会優功賞	宮崎市郡医師会	大 坪 睦 郎	1月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	西 口 俊 裕	3月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	宮崎大学医学部医師会	山 口 昌 俊	3月号
社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	河 野 雅 行	3月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	日向市東臼杵郡医師会	松 岡 弘	3月号
産科医療功労者厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	大 淵 達 郎	3月号
読売新聞社第40回医療功労賞表彰	西都市・西児湯医師会	相 澤 潔	3月号
医療功労者県知事表彰	宮崎市郡医師会	田 中 俊 正	9月号
医療功労者県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	小 山 田 義 貴	9月号
医療功労者県知事表彰	延岡市医師会	日 高 隆 徳	9月号
医療功労者県知事表彰	日向市東臼杵郡医師会	中 島 清 美	9月号
医療功労者県知事表彰	児湯医師会	高 嶋 章	9月号
医療功労者県知事表彰	西諸医師会	大 森 臣 道	9月号

## 【あなたできますか？】

各号

## 【宮崎県感染症発生動向】

各号

## 【メディアの目】

五輪とデジタル一眼レフ時代	時事通信社宮崎支局長	牧 野 達 夫	2月号
キャンプ見学で考えたこと	西日本新聞宮崎総局長	蔵 本 泰 慶	3月号
内田さんのこと	毎日新聞宮崎支局長	池 田 亨	4月号
ふたりの歌人	朝日新聞宮崎総局長	阿 部 浩 明	5月号
ドクターヘリ	NHK 宮崎放送局放送部長	大 村 俊 哉	6月号
マラソン大会考	共同通信社宮崎支局長	清 水 昭 範	7月号

宮崎の自然	テレビ宮崎報道部長	河 野 真	8月号
日向かぼちゃといもがらぼくと			
	宮崎日日新聞社報道部長兼論説委員	森 耕一郎	9月号
想定	宮崎放送取締役・報道制作局長	原 口 俊 幸	10月号
どうなるシンボル樹	南日本新聞社宮崎支局長	赤 崎 公 一	11月号
古事記1300年によせて	時事通信社宮崎支局長	牧 野 達 夫	12月号
【各都市医師会だより】			
都城市北諸県郡医師会(メイン)			2月号
延岡市医師会(メイン)			3月号
宮崎市郡医師会	会 長	川 名 隆 司	5月号
都城市北諸県郡医師会	会 長	飯 田 正 幸	5月号
延岡市医師会	会 長	牧 野 剛 緒	6月号
日向市東臼杵郡医師会	会 長	渡 邊 康 久	6月号
児湯医師会	会 長	永 友 和 之	7月号
西都市・西児湯医師会	会 長	岩 見 晶 臣	7月号
南那珂医師会	会 長	山 元 敏 嗣	8月号
西諸医師会	会 長	高 崎 直 哉	8月号
西臼杵郡医師会	会 長	佐 藤 元二郎	9月号
宮崎大学医学部医師会	会 長	池ノ上 克	9月号
【国公立病院だより】			
県立宮崎病院	病 院 長	豊 田 清 一	3月号
国立病院機構都城病院	病 院 長	小 柳 左 門	5月号
社会保険宮崎江南病院	病 院 長	石 川 正	9月号
県立延岡病院	病 院 長	楠 元 志都生	11月号
【宮崎大学医学部だより】			
生殖発達医学講座産婦人科学分野	医 局 長	金 子 政 時	2月号
解剖学講座超微形態科学分野	教 授	澤 口 朗	3月号
機能制御学講座腫瘍生化学分野	教 授	森 下 和 広	4月号
社会医学講座生命・医療倫理学分野	教 授	板 井 孝 吉 郎	5月号
社会医学講座公衆衛生学分野	教 授	黒 田 嘉 紀	6月号
機能制御学講座機能生化学分野	教 授	西 頭 英 起	8月号
内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野	医 局 長	山 口 秀 樹	9月号
臨床神経科学講座精神医学分野	医 局 長	林 要 人	10月号
感覚運動医学講座皮膚科学分野	准 教 授	天 野 正 宏	11月号
地域医療学講座	教 授	長 田 直 人	12月号
【専門分科医会だより】			
泌尿器科医会	会 長	中 山 健	3月号
耳鼻咽喉科医会	会 長	井 手 稔	4月号
産婦人科医会	会 長	濱 田 政 雄	6月号
放射線科医会	会 長	田 村 正 三	8月号
内科医会	会 長	栗 林 忠 信	10月号
東洋医会	会 長	川 越 宏 文	11月号
外科医会	理 事	白 尾 一 定	12月号

## 【部会だより】

学校医部会	常任理事	佐藤 雄一	5月号
医療法人部会	部会長	鮫島 哲也	9月号

## 【報告(各種委員会)】

医学賞選考委員会			2月号
医学会誌編集委員会			4月号
公衆衛生・感染症委員会			5月号
予防接種委員会			10月号
医学会誌編集委員会			10月号
健康スポーツ医学委員会			10月号
学術生涯教育委員会			11月号
健康教育委員会			11月号
公衆衛生・感染症委員会			12月号

## 【報告(諸会議)】

九州医師会連合会第 322 回常任委員会			1月号
第 42 回全国学校保健・学校医大会			1月号
平成 23 年度全国医師会勤務医部会連絡協議会	理事	上田 章	1月号
宮崎県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会			2月号
第 155 回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)			2月号
第 68 回宮崎県医師会臨時総会(要旨)			2月号
平成 24 年度九州医師会医学会第 2 回準備委員会			2月号
平成 23 年度都道府県医師会看護問題担当理事連絡協議会			2月号
第 3 回各都市医師会会長協議会			3月号
平成 23 年度九州学校検診協議会第 2 回専門委員会			3月号
九州各県医師会学校保健担当理事者会			3月号
九州医師会連合会第 322 回常任委員会			3月号
平成 23 年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会			3月号
第 156 回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)			4月号
九州医師会連合会平成 23 年度第 2 回各種協議会			4月号
平成 23 年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会			4月号
都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会			5月号
九州医師会連合会第 324 回常任委員会			6月号
九州医師会連合会第 325 回常任委員会			7月号
九州医師会連合会第 103 回定例委員総会			7月号
九州医師会連合会第 326 回常任委員会			8月号
県医師会在宅医療協議会と各都市医師会介護保険担当理事との合同協議会			9月号
平成 24 年度医師会立看護学校担当理事連絡協議会			10月号
平成 24 年度九州学校検診協議会第 1 回専門委員会			11月号
第 56 回九州ブロック学校保健・学校医大会, 平成 24 年度九州学校検診協議会(年次大会)			11月号
全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会			11月号

## 【報告(その他)】

アンケート調査への御礼 病院間搬送(傷病者の転院)の受入れ調査, 救急搬送傷病者の受入れ調査			
		宮崎大学医学部附属病院救急部准教授	伊達 晴彦
			4月号
第 13 回宮崎県医師会医家芸術展	理事	高橋 政見	10月号
宮崎県医師会親善ゴルフ大会			12月号

## 【薬事情報センターだより】

新薬紹介( その 53)	1 月号
新薬紹介( その 54)	2 月号
関節リウマチ治療に用いられる生物学的製剤	3 月号
製造販売後調査	4 月号
新薬の薬価算定の基準	5 月号
新薬紹介( その 55)	6 月号
新薬紹介( その 56)	7 月号
新薬紹介( その 57)	8 月号
不活化ポリオワクチン( IPV )	9 月号
新薬紹介( その 58)	10月号
医薬品安全性情報	11月号
副作用・感染症報告制度	12月号

## 【宮崎県医師会協同組合だより】

宮崎県医師協同組合臨時総代会	専務理事 立 元 祐 保	1 月号
平成 24年度 NTTドコモの幹旋について		3 月号

## 【宮崎県医師国保組合だより】

第 16回歩こう会に参加して 御池(みそぎ池)周辺の阿波岐原森林公園の散策	宮 崎 市 大 淵 達 郎	1 月号
国民健康保険法第 116条にかかる届出のお願い		3 月号
平成 23年度宮崎県医師国民健康保険組合第 106回通常組合会		5 月号
平成 24年度の保険料賦課について( 通知 )		5 月号
平成 24年度宮崎県医師国民健康保険組合第 107回通常組合会		9 月号
保健事業のご案内		10月号

## 【追悼のことば】

齋 藤 宰 先生	西諸医師会	1 月号
出 水 善 臣 先生	都城市北諸県郡医師会	3 月号
迫 田 欽 一 先生	西諸医師会	5 月号
吉 松 成 人 先生	都城市北諸県郡医師会	7 月号
西 浦 勇 夫 先生	都城市北諸県郡医師会	7 月号
重 城 壽 雄 先生	宮崎市郡医師会	9 月号
丸 田 祐 司 先生	都城市北諸県郡医師会	11月号
渡 辺 千 秋 先生	西諸医師会	11月号
時 任 高 洋 先生	都城市北諸県郡医師会	11月号
小 牧 一 磨 先生	都城市北諸県郡医師会	12月号
佐 藤 雄 一 先生	宮崎市郡医師会	12月号

## 【ニューメンバー】

石 崎 淳 三	日 南 市	7 月号
中 崎 秀 二	宮 崎 市	9 月号
齋 藤 真 美	宮 崎 市	9 月号
伊 達 晴 彦	都 城 市	12月号
野 田 裕 弘	日 南 市	12月号

## 【診療メモ】

画像検査と放射線障害	宮崎大学医学部病態解析医学講座放射線医学分野	田 村 正 三	1 月号
------------	------------------------	---------	------

小児外科の現況 臍を利用した手術	県立宮崎病院小児外科	村守克己	2月号
宮崎県の地域医療を充実し、発展させるために必要なことはなにか	宮崎大学医学部地域医療学講座教授	長 田 直 人	3月号
創傷治療	宮崎大学医学部感覚運動医学講座皮膚科学分野	古 結 英 樹	4月号
医療現場でのスマートフォンの活用	宮崎大学医学部附属病院医療情報部	山 崎 友 義	5月号
孤立死の現状 宮崎市から	大西医院	大 西 雄 二	6月号
サーファーズイヤーの取り扱い	宮崎大学医学部感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	中 西 悠	7月号
腹部大動脈瘤に対する低侵襲手術 - ステントグラフト内挿術 -	宮崎大学医学部外科学講座循環呼吸・総合外科学分野	松 山 正 和, 中 村 都 英	8月号
性同一性障害について	中山医院	中 山 健	9月号
眼内レンズ UPDATE	宮田眼科病院	宮 田 和 典	10月号
学校における運動器検診の役割と実際	宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野	帖 佐 悦 男, 山 本 恵 太 郎, 山 口 奈 美	11月号
子どもの予防接種の話	たかやま小児科	高 山 修 二	12月号
【私の本】			
精神科医・四方山話 時に触れて	日向市	鮫 島 哲 也	2月号
歌集『カルテ棚』	宮崎 市	長 嶺 元 久	12月号
【私が推薦する本】			
痛みをやわらげる科学	西 都 市	友 成 久 雄	1月号
【その他】			
宮崎県医師会新役員名簿・業務分担			4月号
各郡市医師会役員名簿			4月号
平成 24年総目次			12月号
【告知】			
第 15回宮崎県医師会定例代議員会開催			6月号
【案内】			
平成 24年度第 69回宮崎県医師会定例総会			6月号
第 112回九州医師会総会・医学会			9 ~ 11月号
【お知らせ】			
郡市医師会への送付文書			各 号
宮崎県医師会役員等の選挙のご案内			1月号
受診時定額負担に反対する署名運動にご協力いただきありがとうございました			1月号
女性医師メーリングリストのご案内		1, 2,	11月号
宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ		1, 3,	11月号
宮崎県医師会医療情報コーナー		2 ~ 5,	11月号
日州医事投稿についてのお知らせ		2, 5,	10月号
宮崎県医師会メーリングリストのご案内		3, 4,	6月号
カット, イラストの募集		3, 11,	12月号
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置			4月号
日本医師会女性医師バンク			4月号
平成 24年度春季県医師テニス大会開催のお知らせ			4月号

第 13回宮崎県医師会医家芸術展作品募集	4 , 5 月号
宮崎県医師会勤務医住宅ローンの融資利率改定について	5 , 11月号
はまゆう随筆原稿募集	5 , 6 月号
平成 24年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	5 , 6 , 8 , 11, 12月号
諸会費決定について	6 月号
生命を見つめるフォトコンテスト作品募集	7 月号
第 13回宮崎県医師会医家芸術展	7 , 8 月号
クールビズについて	5 , 7 ~ 10月号
看護師等高度研究研修事業費補助金について	8 月号
県医師会在宅医療協議会入会のご案内	9 , 11月号
新春随想原稿募集	10, 11月号
年末・年始の休館について	12月号
【宮大医学部学生のページ】	
〔宮崎大学学園祭〕第 7 回清花祭～期至快晴～	1 月号
〔宮崎大学学園祭〕第 8 回清花祭～喜奏天凱～	10月号
【みやざきメディカルトライアングル通信】	
平成 24年度内閣府「地域における男女共同参画連携支援事業」での成果について	7 月号
平成 24年度ワークライフバランスセミナー開催のお知らせ	11月号

## 11月のベストセラー

1	海賊とよばれた男(上)(下)	百 田 尚 樹	講 談 社
2	辛坊訓	辛 坊 治 郎	光 文 社
3	6 4(ロクヨン)	横 山 秀 夫	文 藝 春 秋
4	日本型リーダーはなぜ失敗するのか	半 藤 一 利	文 藝 春 秋
5	約束の日 安倍晋三試論	小 川 榮 太 郎	幻 冬 舎
6	動乱のインテリジェンス	佐 藤 優 一 手 嶋 龍	新 潮 社
7	岳飛伝 三 嘶鳴の章	北 方 謙 三	集 英 社
8	置かれた場所で咲きなさい	渡 辺 和 子	幻 冬 舎
9	旅猫レポート	有 川 浩	文 藝 春 秋
10	聞く力 心をひらく 35のヒント	阿 川 佐 和 子	文 藝 春 秋



一歳半になった息子の子育てをしつつの医師生活は、出産前に想像していたものとは随分と違っておりました。子どもを産む前は想像力の足りなさか、「子ども産んで仕事辞めたり、休むなんて理解できない」と思っておりました。出産後はというと、毎日全力で「ママじゃないと、ダメなんだー!!」と身体で表現してくる息子。機会均等法があるとはいえ、やっぱり子育ては

パパよりママなのねと、西原理恵子さん作の「毎日かあさん」を地で行く毎日を送っております。

広報委員会にも息子の熱発などで欠席し、ご迷惑をお掛けすることも多く、出産後の女性の仕事両立の難しさを身をもって体験しております。委員会の方々、地域や大学の先生方、職員さんや家族と多くの方々に支えられての生活だなあと最近つくづく感じております。

連日選挙のニュースで賑わっております。せっかくの先人達が勝ち取ってこられた選挙権があるのですから、ちょっとでも世の中がより良くなるよう熟慮して、一票投じたいと思っております。

今年は口蹄疫を乗り越えての和牛日本一連覇と、宮崎にも明るいニュースがもたらされました。来年はより良い年になりますように。

12月はクリスマスに忘年会に大晦日とイベント事が続きます。飲酒量も多くなり、空気も寒くもなり体調を崩しやすくなって来ますが、皆さま楽しい年の瀬を迎えられますようにお祈り申し上げます。ひとまずは、Merry Christmas!! (大野)

今の日本はあまりにも競争原理に振り回されすぎ、心のゆとりがなくなっているように思えてなりません。ちなみに、国民一人あたりの生産性が世界トップクラスで、国民生活にもゆとりがあると定評のあるノルウェーでは、就業者の時間外労働はむしろ希だそうです。一方、日本では時間外労働が当たり前にもかかわらず、この生産性が先進国では残念ながら下位とのことです。皮肉ともいえる両国のこの大差はどうして生じるのでしょうか? (黒川)

先日、東京から友人が遊びにきてくれて小雨の中を日南、飫肥、霧島、とドライブしてきました。日南の海、みごとな飫肥杉の山並み、高原から御池を通り、霧島へ抜ける紅葉のトンネル、神宮の手前から天孫降臨の看板を通り小林へ抜ける、森の中に光がさしこみ本当に神々が傍にいるような神々しい林の中、新燃岳のふもとにある硫黄臭の凄い新湯温泉、蕎麦畑がお店の前にありご自分で収穫と蕎麦打ちして出してくれるお蕎麦屋さん、等々、都会にいては絶対味わえないものがここにはあり、感動して帰って行かれました。宮崎に住んでよかったと再確認した休日でした。(釜付)

みなさん、もう年賀状は投函されましたでしょうか? 2012年も残りわずか。ふりかえると、ギリシャ危機に始まり、進まぬ復興、オリンピック、領土問題、最後は衆議院の解散・総選挙と今年もいろいろありました。我が家でも長女は受験、次女は小学校入学、妻は粘土をこねこねしてものを作るクレイの資格獲得とそれぞれ新しいことに取り組んできました。一方私は新しいことにチャレンジすることなく例年と変わらない生活を送ってしまいました。来年は充実した一年になるよう何か新しいことを始めたいものです。来年もみなさんにとってよい年でありますようにお祈りいたします。(沖田)

先日、友人から「街コン」に参加したという話を聞きました。恥ずかしながら、どういうものなのかよく分からず、詳しく聞くと、「街コン」とは街ぐるみで行われる大型の合コンイベント(男女の出会いの場)であり、一般的な合コンと異なり、参加者は少ない場合でも数百名に上るそうです。さらに調べてみると、会場となるお店は、地域の居酒屋やBarで、男女の出会いの場を提供するだけでなく、地域の活性化にも一役買っているそうです。恋愛で町おこしとは...恋の力は計り知れないと感心してしまいました。(前田)

多くの方々のご協力のもと、無事に宮崎大学清花祭が終わり、今年も残すところあとわずかになりました。昨年度は、1月5日頃から後期の定期試験が始まったため、それまで急いでいた私は地元の埼玉に帰省できず、1人、某ファミリーレストランで勉強しながら新年を迎えました。今年度も決して余裕があるわけではございませんが、思い切って2年ぶりに帰省することにしました。中学校の同窓会など、つかの間の休息を満喫したいと思います。(陣門)

「医師会のA会員、B会員って何ですか?」と時々聞かれます。簡単に「A会員は開業医、B会員は勤務医、C会員は研修医です」と答えたりするのですが、厳密には「A会員は病院・診療所の開設者、管理者」、「C会員は医師法に基づく研修医」、「B会員はAおよびC会員以外の会員」ですので、夫婦で開業している場合はA会員とB会員になりますし、自宅会員もB会員です。また本紙会員消息の区分にも出てくる上付のA₂(B^{A2}, C^{A2})は日医医賠償保険加入を意味します。(荒木)

## 今月のトピックス

### 宮崎大学医学部だより 地域医療学講座

2010年4月に寄附講座として発足した地域医療学講座の取組みについて、救急医療体制充実への協力から地域で働く総合医育成計画への着手まで、研修カリキュラムの構築による後期研修医の宮崎県定住や専門性を兼ね備えた地域総合医育成への願いを込めて、長田直人教授が熱意をもって述べてくださいました。また、2014年3月の寄附講座任期終了後も医療ネットワークの構築を目標に加え、宮崎県の明るい地域医療実現のための抱負を述べておられます。ぜひご一読ください。 12ページ

### 診療メモ 子どもの予防接種の話

予防接種後進国という言葉返すべく大きく変化し続けている日本の予防接種の現状について、高山修二先生が小児科医の立場から予防接種の種類、接種開始年齢、同時接種の必要性、今後の課題などをわかり易く解説してくださいました。合言葉は「ワクチンデビューは生後2か月の誕生日、同時接種で早期に確実に予防」です。 48ページ

### お知らせ 平成24年総目次

毎年12月号恒例の日州医事1年間の総目次です。表紙作品や日州医談、随想・随筆、寄稿など、タイトルから掲載号を検索できる便利なページです。是非、有効に活用してください。 54ページ

日 州 医 事 第 760号 (平成 24年 12月号) (毎月 1回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会  
〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail: office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 尾田 朋樹・副委員長 上野 満, 黒川 基樹

委 員 篠原 立大, 姫路 大輔, 藪内 悠貴, 湯浅美紗子

釜付 弘志, 沖田 和久, 大野 妙子, 前田 雄洋, 陣門 洋平

担当副会長 富田 雄二・担当理事 青木 洋子, 荒木 早苗

事 務 局 学術広報課 喜入 美香, 杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)